

令和5年度携帯電話及び全国BWAに係る調査結果 に関するヒアリング項目（案）

令和5年10月25日
有効利用評価部会
事務局

目次

1. 全般

各社共通	4
------	---

2. 定量評価関係

NTTドコモ	7
KDDI／沖縄セルラー電話	18
ソフトバンク	25
楽天モバイル	34
UQコミュニケーションズ	36
Wireless City Planning	39

3. 定性評価関係

各社共通	44
------	----

目次

1. 全般

各社共通	4
------	---

2. 定量評価関係

NTTドコモ	7
KDDI／沖縄セルラー電話	18
ソフトバンク	25
楽天モバイル	34
UQコミュニケーションズ	36
Wireless City Planning	39

3. 定性評価関係

各社共通	44
------	----

各社共通の質問項目(案)

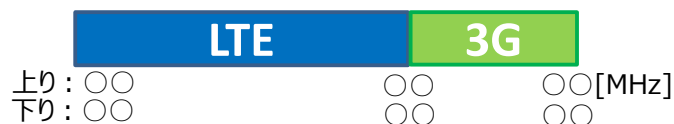
No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考） R 4 評価概要
共1	全般	御社が携帯ネットワークを構築する上での、周波数帯ごとの目的や役割等、それを踏まえた周波数全体としての基本的な利用方針について、昨年からの変更点を含め、教えてください。 その際、通信規格別の使用周波数範囲・幅がわかるように図示してください。	各事業者の周波数全体の基本的な利用方針は割り当てられた周波数の活用方法の考え方を確認できるため、経年的に確認する。	—

※御回答にあたっては、文章にて御回答いただくとともに、可能な範囲で、パワーポイントにて、概要が分かる図等をお示しください。

通信規格別の使用周波数範囲・幅の図示イメージ

（例 1）通信規格により周波数範囲を分けている場合

- ・ 3 G : エリアカバレッジ
- ・ 4 G : エリアカバレッジ、5G（NSA）のアンカーバンド



（例 2）同一周波数範囲で複数の通信規格を利用している場合

- ・ 4 G : トラヒック対策
 - ・ 5 G : エリアカバレッジ、令和 4 年○月より 5 G 運用開始。
- ※ 4 G トラヒックが他周波数帯で収容可能なエリアから 5 G 化。



（例 3）同一周波数帯でキャリアアグリゲーションしている場合

- ・ 5 G : スポットのトラヒック対策



（例 4）4Gと5GのDSS*運用の場合

- ・ 4 G / 5 G（DSS） : トラヒック対策



* DSS : Dynamic Spectrum Sharing

リソースエレメント単位で柔軟に 4 G と 5 G の信号を配置することが可能な技術。

エリア内の存在する 4 G 端末と 5 G 端末の割合によって、基地局が送信する 4 G 信号と 5 G 信号を柔軟に切り替えることができる。

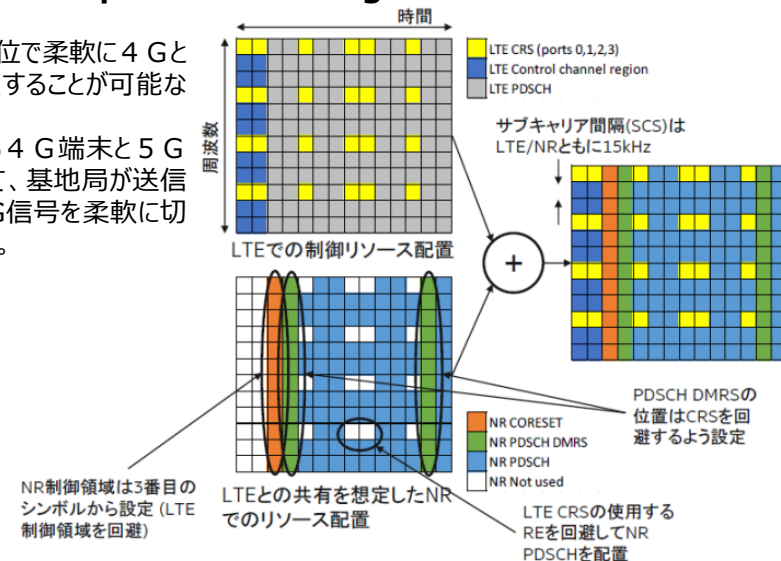


図 : DSS技術の概要

(参考)移動通信システム用周波数の割当状況

5

- 電気通信業務用として、携帯電話事業者・全国BWA事業者 7社※に周波数の割当てを実施。
- 各社に割り当てられた周波数は、下表のとおり（令和5年3月末時点）。

	700MHz帯	800MHz帯	900MHz帯	1.5GHz帯	1.7GHz帯	2GHz帯	2.3GHz帯	2.5GHz帯	3.4GHz帯	3.5GHz帯	3.7GHz帯 4.5GHz帯	28GHz帯	合計
	FDD	FDD	FDD	FDD	FDD	FDD	TDD	TDD	TDD	TDD	TDD	TDD	
 NTT docomo	20MHz	30MHz	—	30MHz	40MHz 東名阪のみ	40MHz	—	—	40MHz	40MHz	200MHz	400MHz	840MHz
 au	20MHz	30MHz	—	20MHz	40MHz	40MHz	40MHz	—	—	40MHz	200MHz	400MHz	830MHz
 UQ Communications	—	—	—	—	—	—	—	50MHz	—	—	—	—	50MHz
 SoftBank	20MHz	—	30MHz	20MHz	30MHz	40MHz	—	—	40MHz	40MHz	100MHz	400MHz	720MHz
 WIRELESS CITY PLANNING	—	—	—	—	—	—	—	30MHz	—	—	—	—	30MHz
 Rakuten Mobile	—	—	—	—	80MHz (40MHzは東名阪以外)	—	—	—	—	—	100MHz	400MHz	580MHz
合計	60MHz	60MHz	30MHz	70MHz	190MHz	120MHz	40MHz	80MHz	80MHz	120MHz	600MHz	1,600MHz	3,050MHz

開設計画の認定に基づいて割当てられた周波数(認定期間終了)

開設計画の認定に基づいて割当てられた周波数(認定期間中)

※ 携帯電話事業者は、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社、ソフトバンク株式会社、楽天モバイル株式会社。
全国BWA事業者は、UQコミュニケーションズ株式会社、Wireless City Planning株式会社。

目次

1. 全般

各社共通	4
------	---

2. 定量評価関係

NTTドコモ	7
KDDI／沖縄セルラー電話	18
ソフトバンク	25
楽天モバイル	34
UQコミュニケーションズ	36
Wireless City Planning	39

3. 定性評価関係

各社共通	44
------	----

定量評価 NTTドコモへの質問項目（案）（その1）

7

■NTTドコモ：計9問

- * …【令和5年度】：本年度の新たな質問項目
 …【昨年度と同様】：昨年度と同様な質問項目
 …【昨年度から改善】：昨年度、同様な質問項目であるが、一部で改善が見られるもの

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由*（送付時には「回答欄」とする）	（参考）R4評価概要
定量D1	700MHz帯 ・ 基地局数 人口カバー率 面積カバー率	700MHz帯（4G+5G）について、信越の人口カバー率が80%以上85%未満、沖縄の面積カバー率が周波数帯平均値の70%を下回っている。 また、前年度と比較し、基地局数は関東・信越・北陸・四国において減少、人口カバー率は全国・東北・関東・信越・四国・沖縄において減少、面積カバー率は近畿・九州以外において減少している。 これらの要因及び今後の展開方針について教えてください。	【令和5年度※】人口カバー率は信越において80%以上85%未満（実績評価：C評価に該当）、面積カバー率は沖縄において周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当）となっている。 また、基地局数、人口カバー率及び面積カバー率について、前年度比較で減少が見られるところ。 これらの要因を確認するとともに、今後の展開方針について確認する。 ※沖縄の面積カバー率については昨年度と同様	—
定量D2	700MHz帯 ・ 通信量	700MHz帯（4G+5G）について、東北・北陸の通信量（月間総トラフィック）が前年度より減少している。 この要因及び今後の増減見通しを教えてください。	【令和5年度】東北・北陸の通信量が、前年度実績値未満（進捗評価：C評価に該当）となっており、この要因及び今後の増減見通しについて確認する。	—
定量D3	1.5GHz帯 ・ 通信量	1.5GHz帯（4G）について、北陸・近畿の通信量（月間総トラフィック）が前年度より減少している。 この要因及び今後の増減見通しを教えてください。	【令和5年度】北陸・近畿における通信量が、前年度実績値未満（進捗評価：C評価に該当）となっており、この要因及び今後の増減見通しについて確認する。	—
定量D4	2GHz帯 ・ 基地局数 人口カバー率 面積カバー率	2GHz帯（3G）について、前年度と比較すると、全国的に基地局数、人口カバー率及び面積カバー率が減少している。3Gから4G・5Gへのマイグレーションの方針を教えてください。 ※令和4年度評価結果における検討課題に係る質問項目に同じ。	【昨年度と同様】2GHz帯（3G）について、前年度の調査結果と比較し、更に基地局数等の減少傾向が大きくなっている。3Gに係る評価の在り方について、マイグレーション方針のヒアリングを実施した上で、検討を進めることが適当と考えられるため。	同社の3G終了に向けて基地局数、人口カバー率が減少傾向にあることに留意すべき。適切な評価となるよう、当審議会において3Gの評価の在り方について今後検討を進める。
定量D5	3.5GHz帯 ・ 人口カバー率 面積カバー率	3.5GHz帯（4G+5G）について、昨年度と同様、九州・沖縄の人口カバー率が50%以上70%未満、沖縄の面積カバー率が周波数帯平均値の70%を下回っている。 この要因及び今後の展開方針を教えてください。	【昨年度と同様】人口カバー率の拡大については、令和4年度評価結果において引き続き努力すべきとした事項である。 九州・沖縄の人口カバー率は、いずれも前年度より拡大しているが、実績値では50%以上70%未満（実績評価：C評価に該当）、沖縄の面積カバー率は、周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当）となっている要因及び今後の展開方針について継続的に確認する。	九州及び沖縄では人口カバー率がそれぞれ64%及び66%と低い。同社によれば島嶼部の地理的影響による制約が生じたためとしているが、電波の有効利用の観点から、人口カバー率の拡大について引き続き努力するべきである。

定量評価 NTTドコモへの質問項目（案）（その2）

8

- * …【令和5年度】:本年度の新たな質問項目
 …【昨年度と同様】: 昨年度と同様な質問項目
 …【昨年度から改善】: 昨年度、同様な質問項目であるが、一部で改善が見られるもの

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由*（送付時には「回答欄」とする）	（参考）R4評価概要
定量 D6	3.5GHz帯 ・ 通信量	3.5MHz帯（4G+5G）について、北陸・近畿の通信量（月間総トラフィック）が前年度より減少している。この要因及び今後の増減見通しを教えてください。	【令和5年度】 北陸・近畿における通信量が、前年度実績値未満（進捗評価：C評価に該当）となっており、この要因及び今後の増減見通しについて確認する。	—
定量 D7	3.5GHz帯 ・ 技術導入状況	3.5MHz帯（4G+5G）について、全国・関東・信越・東海・近畿・九州における8MIMOの導入局数が減少している。この要因を教えてください。	【令和5年度】 8MIMOの局数について、東北を除き前年度より減少し、全国及び一部地域では前年度実績値－30%未満（進捗評価：C評価に該当）となっており、この減少要因について確認する。	—
定量 D8	3.4GHz帯 ・ 基地局数 人口カバー率 面積カバー率	3.4GHz帯（4G+5G）について、近畿・沖縄において、基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%を下回っている。この要因及び今後の展開方針について教えてください。 また、本年度は、北海道・関東において、いずれの地域も人口カバー率が周波数帯平均値の90%超となっている。人口カバー率の拡大に向けてどのような取組をされたのか教えてください。	【昨年度から改善】 人口カバー率・面積カバー率の拡大については、令和4年度評価結果において引き続き努力すべきとした事項である。 近畿・沖縄において、基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当）となった要因及び今後の展開方針については継続的に確認するとともに、昨年度から改善がみられた北海道・関東における人口カバー率の拡大に向けた取組の状況について確認する。	一部の地域で人口カバー率及び面積カバー率が他社に比べて低いため、カバー率の拡大に向けて努力すべきである。
定量 D9	3.7GHz帯 ・ 基地局数 人口カバー率 面積カバー率	3.7GHz帯（5G）について、北海道・関東・東海において、基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%を下回っている。また、当該地域では、他地域に比べ展開が進んでいないように見受けられる。これらの要因について教えてください。	【令和5年度】 北海道・関東・東海において、基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当）となった要因、また、人口カバー率の実績値が、昨年度比較で、北海道は+0.28%、関東は+0.39%、東海は+0.7%であり、他地域に比べ展開が進んでない状況が見受けられ、この要因について確認する。	—

※御回答にあたっては、文章にて御回答いただくとともに、可能な範囲で、パワーポイントにて、概要が分かる図等をお示しください。

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考） R 4 評価概要
定量 D1	700MHz帯 ・ 基地局数 人口カバー率 面積カバー率	700MHz帯（4G＋5G）について、信越の人口カバー率が80%以上85%未満、沖縄の面積カバー率が周波数帯平均値の70%を下回っている。 また、前年度と比較し、基地局数は関東・信越・北陸・四国において減少、人口カバー率は全国・東北・関東・信越・四国・沖縄において減少、面積カバー率は近畿・九州以外において減少している。 これらの要因及び今後の展開方針について教えてください。	【令和5年度※】 人口カバー率は信越において80%以上85%未満（実績評価：C評価に該当）、面積カバー率は沖縄において周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当）となっている。 また、基地局数、人口カバー率及び面積カバー率について、前年度比較で減少が見られるところ。 これらの要因を確認するとともに、今後の展開方針について確認する。 ※沖縄の面積カバー率については昨年度と同様	－

○令和5年度 評価（暫定）

R 5 実績評価（暫定）【4 G＋5 G】

	基地局数			人口カバー率		面積カバー率			通信量	技術 導入状況	総合的な 評価
	評価	計画値差	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値			
全国	B	+3,438	21,832	B	88.96%	B	81.2%	27.69%	B	B	B
北海道	B	+164	1,018	A	90.55%	B	78.1%	15.54%	B	B	A
東北	B	+325	1,760	A	91.83%	B	87.1%	27.79%	B	B	A
関東	B	+890	7,027	B	87.22%	B	80.7%	43.57%	B	B	B
信越	B	+504	1,196	C	84.84%	B	70.6%	22.39%	B	B	C
北陸	B	+134	508	A	90.56%	B	76.4%	26.65%	B	B	A
東海	B	+148	2,356	A	92.91%	B	73.4%	29.00%	B	B	A
近畿	B	+387	3,195	A	90.75%	B	82.0%	32.80%	B	B	A
中国	B	+179	1,297	B	85.65%	A	92.8%	34.34%	B	B	B
四国	B	+154	881	B	87.51%	B	73.2%	23.36%	B	B	B
九州	B	+498	2,400	B	88.21%	B	85.3%	36.18%	B	B	B
沖縄	B	+55	194	B	89.20%	C	57.6%	35.39%	B	B	B

R 5 進捗評価（暫定）【4 G＋5 G】

	基地局数			人口カバー率			面積カバー率			総合的な 評価	通信量	技術 導入状況
	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値			
全国	A	+321	21,832	A	-0.55	88.96%	A	-0.34	27.69%	A	B	A
北海道	A	+1	1,018	A	+0.20	90.55%	A	-0.04	15.54%	A	B	A
東北	A	+3	1,760	A	-0.12	91.83%	B	-1.06	27.79%	B	C	A
関東	A	-16	7,027	B	-2.61	87.22%	A	-0.76	43.57%	B	B	A
信越	A	-6	1,196	B	-1.58	84.84%	A	-0.32	22.39%	B	B	A
北陸	A	-2	508	A	+0.07	90.56%	A	-0.78	26.65%	A	C	A
東海	A	+14	2,356	A	+0.35	92.91%	A	-0.02	29.00%	A	B	A
近畿	A	+48	3,195	S	+1.47	90.75%	A	+0.35	32.80%	S	B	A
中国	A	+17	1,297	A	+0.55	85.65%	A	-0.02	34.34%	A	B	A
四国	A	-1	881	A	-0.98	87.51%	B	-1.28	23.36%	B	B	A
九州	A	+253	2,400	S	+1.30	88.21%	A	+0.20	36.18%	S	B	S
沖縄	A	+10	194	A	-0.21	89.20%	A	-0.29	35.39%	A	B	A

○（参考）令和4年度評価結果

R 4 実績評価【4 G】（認定計画の有効期間が満了している周波数帯としての評価）

	基地局数			人口カバー率		面積カバー率			通信量	技術導 入状況	総合的 な評価
	評価	計画値比	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値			
全国	B	+4,798	21,511	B	89.51%	B	84.4%	28.03%	B	B	B
北海道	B	+264	1,017	A	90.35%	B	78.7%	15.58%	B	B	A
東北	B	+437	1,757	A	91.95%	A	92.8%	28.85%	B	B	A
関東	B	+1,411	7,043	B	89.83%	B	84.1%	44.33%	B	B	B
信越	B	+569	1,202	B	86.42%	B	73.3%	22.71%	B	B	B
北陸	B	+180	510	A	90.49%	B	80.7%	27.43%	B	B	A
東海	B	+352	2,342	A	92.56%	B	77.2%	29.02%	B	B	A
近畿	B	+604	3,147	B	89.28%	B	84.5%	32.45%	B	B	B
中国	B	+229	1,280	B	85.10%	A	95.7%	34.36%	B	B	B
四国	B	+234	882	B	88.49%	B	78.7%	24.64%	B	B	B
九州	B	+457	2,147	B	86.91%	B	88.0%	35.98%	B	B	B
沖縄	B	+61	184	B	89.41%	C	63.5%	35.68%	B	B	B

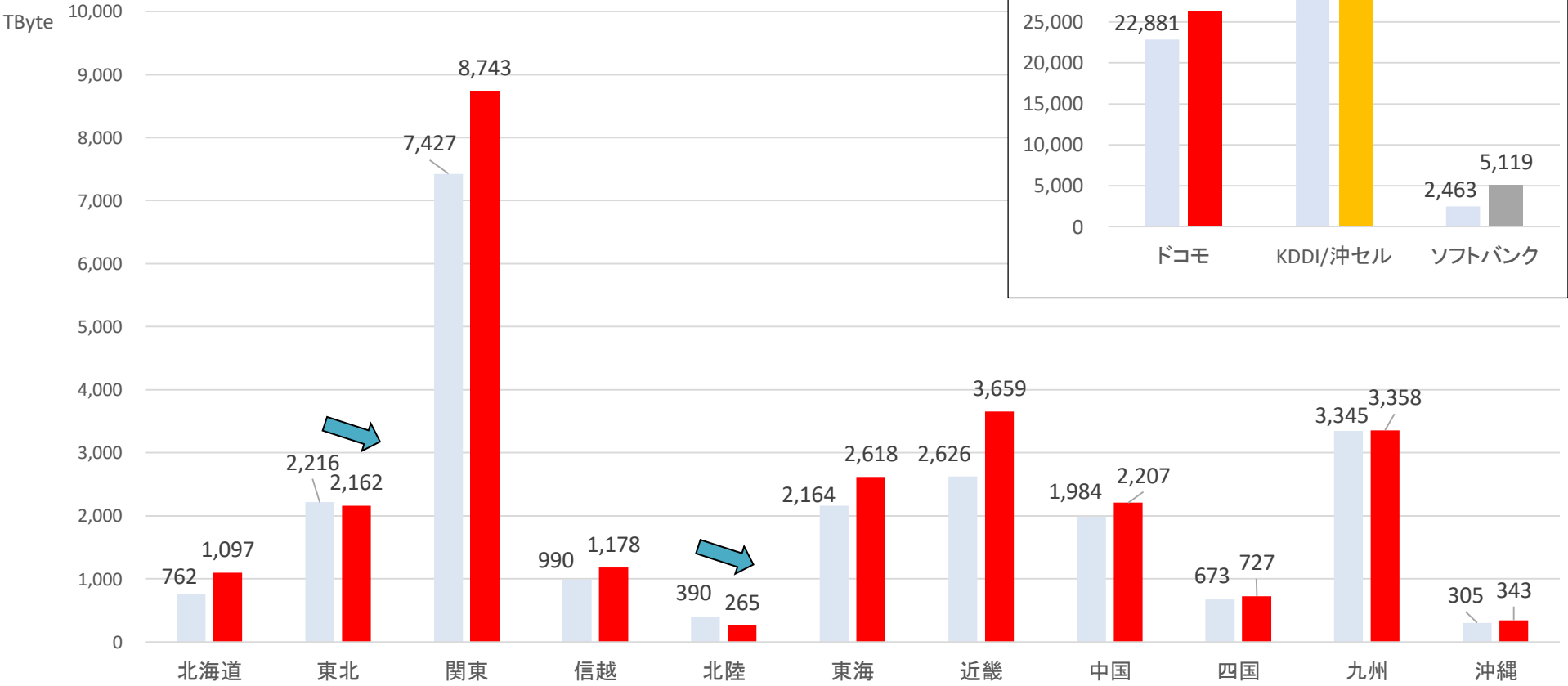
R 4 進捗評価【4 G】（認定計画の有効期間が満了している周波数帯としての評価）

	基地局数（※1）			人口カバー率			面積カバー率			総合的 な評価 （※2）	通信量 （※3）	技術 導入 率
	評価	前年度比	実績値	評価	前年度比	実績値	評価	前年度比	実績値			
全国	A	+587	21,511	S	+4.8	89.51%	A	+0.8	28.03%	S	B	A
北海道	-	-	1,017	A	+0.1	90.35%	A	±0	15.58%	-	-	A
東北	-	-	1,757	A	+0.1	91.95%	A	+0.1	28.85%	-	-	A
関東	-	-	7,043	S	+11.6	89.83%	S	+5.9	44.33%	-	-	A
信越	-	-	1,202	S	+2.1	86.42%	A	+0.9	22.71%	-	-	S
北陸	-	-	510	A	+0.2	90.49%	A	+0.1	27.43%	-	-	A
東海	-	-	2,342	A	+0.2	92.56%	A	±0	29.02%	-	-	A
近畿	-	-	3,147	S	+1.8	89.28%	A	+0.5	32.45%	-	-	A
中国	-	-	1,280	S	+1.3	85.10%	A	+0.5	34.36%	-	-	A
四国	-	-	882	A	±0	88.49%	A	±0	24.64%	-	-	A
九州	-	-	2,147	S	+3.7	86.91%	A	+0.7	35.98%	-	-	A
沖縄	-	-	184	A	+0.5	89.41%	A	+0.1	35.68%	-	-	A

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）R 4 評価概要
定量 D2	700MHz帯 ・ 通信量	700MHz帯（4G + 5G）について、東北・北陸の通信量（月間総トラフィック）が前年度より減少している。この要因及び今後の増減見通しを教えてください。	【令和5年度】東北・北陸の通信量が、前年度実績値未滿（進捗評価：C評価に該当）となっており、この要因及び今後の増減見通しについて確認する。	－

○令和5年度調査結果 700MHz帯 ドコモ 通信量（月間総トラフィック）

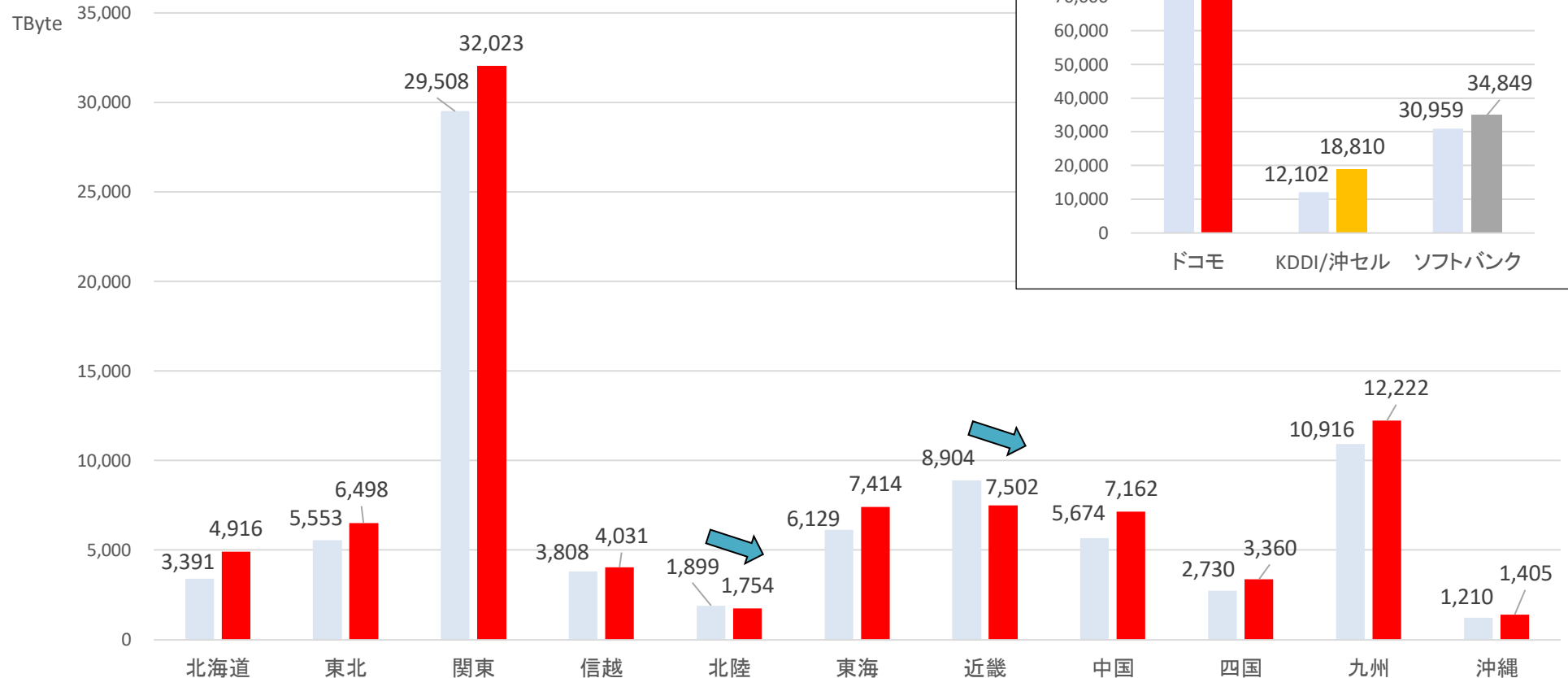
■ 令和4年度ドコモ, ■ 令和4年度KDDI/沖縄セル, ■ 令和4年度ソフトバンク
■ 令和3年度



No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和4年度評価
定量 D3	1.5GHz帯 ・ 通信量	1.5GHz帯（4G）について、北陸・近畿の通信量（月間総トラフィック）が前年度より減少している。 この要因及び今後の増減見通しを教えてください。	【令和5年度】北陸・近畿における通信量が、前年度実績値未満（進捗評価：C評価に該当）となっており、この要因及び今後の増減見通しについて確認する。	－

○令和5年度調査結果 1.5GHz帯 ドコモ 通信量（月間総トラフィック）

■ 令和4年度ドコモ, ■ 令和4年度KDDI/沖縄セル, ■ 令和4年度ソフトバンク
■ 令和3年度



No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）R 4 評価概要
定量 D4	2GHz帯 ・ 基地局数 人口カバー率 面積カバー率	2GHz帯（3G）について、前年度と比較すると、全国的に基地局数、人口カバー率及び面積カバー率が減少している。3 Gから4 G・5 Gへのマイグレーションの方針を教えてください。 ※令和4年度評価結果における検討課題に係る質問項目に同じ。	【昨年度と同様】2GHz帯（3G）について、前年度の調査結果と比較し、更に基地局数等の減少傾向が大きくなっている。3 Gに係る評価の在り方について、マイグレーション方針のヒアリングを実施した上で、検討を進めることが適当と考えられるため。	同社の3 G終了に向けて基地局数、人口カバー率が減少傾向にあることに留意すべき。適切な評価となるよう、当審議会において3 Gの評価の在り方について今後検討を進める。

○令和5年度 評価（暫定）

R 5実績評価（暫定）【3G】

	基地局数			人口カバー率		面積カバー率			通信量 （※2）	技術 導入状況 （※3）	総合的な 評価 （※4）
	評価	計画値差 （※1）	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値			
全国	-	-	33,630	B	87.54%	B	74.5%	25.09%	-	-	B
北海道	-	-	1,981	S	96.47%	B	85.4%	19.48%	-	-	S
東北	-	-	830	C	50.01%	C	44.7%	10.23%	-	-	C
関東	-	-	10,921	A	91.22%	B	82.7%	47.12%	-	-	A
信越	-	-	1,224	B	78.94%	B	73.1%	21.77%	-	-	B
北陸	-	-	733	B	86.82%	B	73.2%	25.83%	-	-	B
東海	-	-	4,521	A	94.37%	B	74.6%	32.81%	-	-	A
近畿	-	-	6,079	S	95.91%	B	81.9%	34.88%	-	-	S
中国	-	-	2,536	A	91.23%	B	73.3%	30.00%	-	-	A
四国	-	-	1,122	A	90.15%	B	88.6%	32.09%	-	-	A
九州	-	-	3,220	B	74.79%	C	68.4%	24.77%	-	-	B
沖縄	-	-	463	A	90.58%	B	78.4%	44.94%	-	-	A

R 5進捗評価（暫定）【3G】

	基地局数			人口カバー率			面積カバー率			総合的な 評価	通信量 （※1）	技術 導入状況 （※2）
	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値			
全国	C	-11,736	33,630	C	-7.92	87.54%	C	-5.50	25.09%	C	-	-
北海道	C	-870	1,981	B	-1.59	96.47%	B	-3.16	19.48%	C	-	-
東北	C	-1,805	830	C	-19.20	50.01%	B	-3.61	10.23%	C	-	-
関東	C	-3,654	10,921	C	-8.10	91.22%	C	-13.35	47.12%	C	-	-
信越	C	-1,083	1,224	C	-16.61	78.94%	C	-9.14	21.77%	C	-	-
北陸	C	-221	733	C	-5.89	86.82%	B	-2.58	25.83%	C	-	-
東海	C	-1,158	4,521	B	-3.56	94.37%	B	-3.46	32.81%	C	-	-
近畿	B	-534	6,079	B	-2.86	95.91%	C	-5.74	34.88%	C	-	-
中国	A	-15	2,536	A	-0.18	91.23%	B	-1.70	30.00%	B	-	-
四国	C	-605	1,122	C	-5.30	90.15%	C	-6.62	32.09%	C	-	-
九州	C	-1,663	3,220	C	-19.18	74.79%	C	-9.20	24.77%	C	-	-
沖縄	C	-128	463	C	-7.90	90.58%	C	-5.09	44.94%	C	-	-

○（参考）令和4年度評価結果

R 4実績評価【3G】

	基地局数		人口カバー率		面積カバー率			通信 量 （※2）	技術導 入状況 （※3）	総合的 な評価 （※4）
	計画値比	実績値 （※1）	評価	実績値	評価	平均比	実績値			
全国	-	45,366	S	95.46%	B	83.8%	30.59%	-	-	S
北海道	-	2,851	S	98.06%	A	92.8%	22.64%	-	-	S
東北	-	2,635	C	69.21%	C	55.6%	13.84%	-	-	C
関東	-	14,575	S	99.32%	A	94.8%	60.47%	-	-	S
信越	-	2,307	S	95.55%	B	89.6%	30.91%	-	-	S
北陸	-	954	A	92.71%	B	77.6%	28.41%	-	-	A
東海	-	5,679	S	97.93%	B	79.2%	36.27%	-	-	S
近畿	-	6,613	S	98.77%	B	89.3%	40.62%	-	-	S
中国	-	2,551	A	91.41%	B	75.8%	31.70%	-	-	A
四国	-	1,727	S	95.45%	A	98.0%	38.71%	-	-	S
九州	-	4,883	A	93.97%	B	83.1%	33.97%	-	-	A
沖縄	-	591	S	98.48%	B	83.2%	50.03%	-	-	S

R 4進捗評価【3G】

	基地局数(※1)			人口カバー率			面積カバー率			総合的 な評価 （※2）	通信 量 （※3）	技術導 入率 （※4）
	評価	前年度比	実績値	評価	前年度比	実績値	評価	前年度比	実績値			
全国	C	-5,055	45,366	B	-2.3	95.46%	B	-3.91	30.59%	C	-	-
北海道	-	-	2,851	A	-0.2	98.06%	A	-0.46	22.64%	-	-	-
東北	-	-	2,635	C	-26.2	69.21%	C	-15.06	13.84%	-	-	-
関東	-	-	14,575	A	-0.2	99.32%	B	-1.23	60.47%	-	-	-
信越	-	-	2,307	A	-0.9	95.55%	B	-1.39	30.91%	-	-	-
北陸	-	-	954	B	-4.4	92.71%	C	-7.19	28.41%	-	-	-
東海	-	-	5,679	A	-0.5	97.93%	B	-1.53	36.27%	-	-	-
近畿	-	-	6,613	A	±0	98.77%	A	+0.02	40.62%	-	-	-
中国	-	-	2,551	A	+0.1	91.41%	A	+0.4	31.70%	-	-	-
四国	-	-	1,727	A	+0.1	95.45%	A	+0.01	38.71%	-	-	-
九州	-	-	4,883	B	-2.3	93.97%	C	-5.23	33.97%	-	-	-
沖縄	-	-	591	A	-0.8	98.48%	B	-3.27	50.03%	-	-	-

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）R 4 評価概要
定量 D5	3.5GHz帯 ・ 人口カバー率 面積カバー率	3.5GHz帯（4G + 5G）について、昨年度と同様、九州・沖縄の人口カバー率が50%以上70%未満、沖縄の面積カバー率が周波数帯平均値の70%を下回っている。 この要因及び今後の展開方針を教えてください。	【昨年度と同様】 人口カバー率の拡大については、令和4年度評価結果において引き続き努力すべきとした事項である。 九州・沖縄の人口カバー率 は、いずれも前年度より拡大しているが、実績値では 50%以上70%未満（実績評価：C評価に該当） 、 沖縄の面積カバー率 は、 周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当） となっている要因及び今後の展開方針について継続的に確認する。	九州及び沖縄では人口カバー率がそれぞれ64%及び66%と低い。 同社によれば島嶼部の地理的影響による制約が生じたためとしているが、電波の有効利用の観点から、人口カバー率の拡大について引き続き努力すべきである。

○令和5年度 評価（暫定）

R 5 実績評価（暫定）【4 G + 5 G】

	基地局数			人口カバー率		面積カバー率			通信量	技術 導入状況	総合的な 評価
	評価	計画値差	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値			
全国	B	+8,547	26,133	B	79.69%	S	116.8%	11.68%	B	B	B
北海道	B	+451	987	B	76.46%	S	140.5%	2.67%	B	B	B
東北	B	+613	1,631	B	79.09%	A	106.7%	12.48%	B	B	B
関東	B	+2,559	10,190	B	79.20%	S	145.5%	22.55%	B	B	B
信越	B	+129	756	B	79.14%	S	122.3%	15.65%	B	B	B
北陸	B	+246	705	B	85.98%	S	116.8%	19.50%	B	B	B
東海	B	+1,066	2,640	B	83.57%	S	119.0%	18.20%	B	B	B
近畿	B	+1,893	4,733	B	88.07%	S	126.5%	15.81%	B	B	B
中国	B	+274	1,205	B	75.34%	A	102.7%	11.61%	B	B	B
四国	B	+342	872	B	80.26%	S	121.7%	12.29%	B	B	B
九州	B	+874	2,198	C	67.60%	B	85.5%	8.72%	B	B	C
沖縄	B	+100	216	C	67.37%	C	54.7%	8.64%	B	B	C

R 5 進捗評価（暫定）【4 G + 5 G】

	基地局数			人口カバー率			面積カバー率			総合的な	通信量	技術 導入状況
	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値	評価		
全国	A	+70	26,133	S	+1.90	79.69%	A	+0.10	11.68%	S	B	C
北海道	A	+6	987	S	+2.92	76.46%	A	+0.01	2.67%	S	B	A
東北	A	+18	1,631	S	+3.27	79.09%	A	+0.19	12.48%	S	B	S
関東	A	+48	10,190	S	+1.01	79.20%	A	-0.03	22.55%	S	B	C
信越	A	+1	756	S	+2.03	79.14%	A	+0.03	15.65%	S	B	C
北陸	A	-2	705	S	+1.57	85.98%	A	-0.12	19.50%	S	C	A
東海	A	+6	2,640	S	+1.55	83.57%	A	+0.01	18.20%	S	B	C
近畿	A	-15	4,733	S	+1.39	88.07%	A	+0.19	15.81%	S	C	C
中国	A	+1	1,205	S	+2.76	75.34%	A	-0.02	11.61%	S	B	A
四国	A	-2	872	S	+2.43	80.26%	A	+0.05	12.29%	S	B	A
九州	A	+8	2,198	S	+3.21	67.60%	A	+0.17	8.72%	S	B	A
沖縄	A	+1	216	S	+1.02	67.37%	A	+0.17	8.64%	S	B	A

○（参考）令和4年度評価結果

R 4 実績評価【4 G + 5 G】

	基地局数			人口カバー率		面積カバー率			通信量	技術導 入状況	総合的な 評価
	評価	計画値比	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値			
全国	B	+8,477	26,063	B	77.79%	S	117.0%	11.58%	B	B	B
北海道	B	+445	981	B	73.54%	S	147.8%	2.66%	B	B	B
東北	B	+595	1,613	B	75.82%	A	105.9%	12.29%	B	B	B
関東	B	+2,511	10,140	B	78.19%	S	150.5%	22.58%	B	B	B
信越	B	+128	755	B	77.11%	S	121.1%	15.62%	B	B	B
北陸	B	+248	707	B	84.41%	S	117.5%	19.62%	B	B	B
東海	B	+1,060	2,634	B	82.02%	S	120.5%	18.19%	B	B	B
近畿	B	+1,908	4,748	B	86.68%	S	130.2%	15.62%	B	B	B
中国	B	+273	1,204	B	72.58%	A	103.8%	11.63%	B	B	B
四国	B	+344	874	B	77.83%	S	122.4%	12.24%	B	B	B
九州	B	+866	2,190	C	64.39%	B	82.2%	8.55%	B	B	C
沖縄	B	+99	215	C	66.35%	C	58.0%	8.47%	B	B	C

R 4 進捗評価【4 G + 5 G】

	基地局数（※１）			人口カバー率			面積カバー率			総合的な評価 （※２）	通信量 （※３）	技術導入率
	評価	前年度比	実績値	評価	前年度比	実績値	評価	前年度比	実績値			
全国	A	+6	26,063	S	+2.9	77.79%	A	+0.4	11.58%	S	B	A
北海道	-	-	981	A	±0	73.54%	A	±0	2.66%	-	-	A
東北	-	-	1,613	A	+0.1	75.82%	A	+0.1	12.29%	-	-	A
関東	-	-	10,140	S	+6.9	78.19%	S	+2.2	22.58%	-	-	A
信越	-	-	755	S	+7.8	77.11%	S	+1.7	15.62%	-	-	S
北陸	-	-	707	A	+0.1	84.41%	A	+0.1	19.62%	-	-	S
東海	-	-	2,634	A	±0	82.02%	A	+0.1	18.19%	-	-	A
近畿	-	-	4,748	S	+2.3	86.68%	A	+0.9	15.62%	-	-	A
中国	-	-	1,204	A	±0	72.58%	A	±0	11.63%	-	-	S
四国	-	-	874	A	±0	77.83%	A	±0	12.24%	-	-	S
九州	-	-	2,190	A	±0	64.39%	A	±0	8.55%	-	-	B
沖縄	-	-	215	A	±0	66.35%	A	±0	8.47%	-	-	A

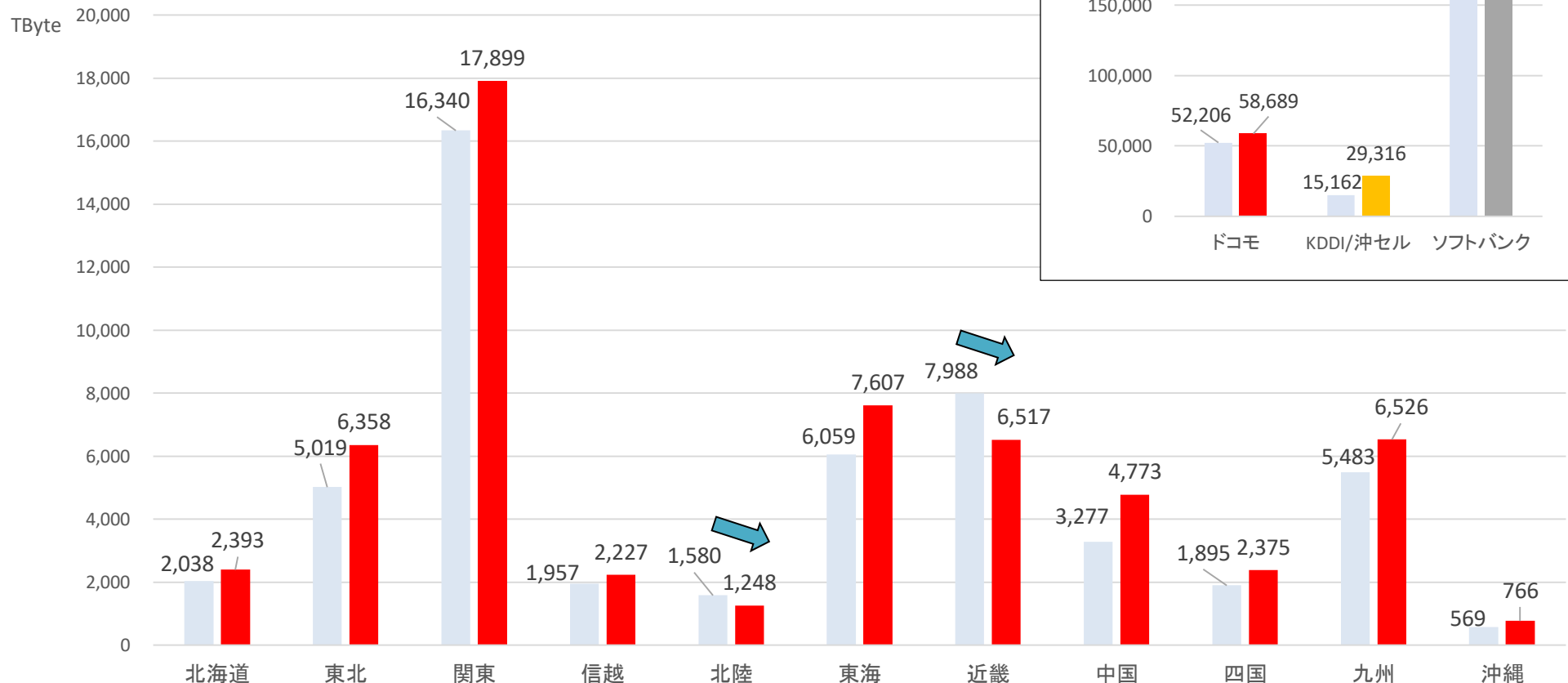
NTTドコモ 詳細⑥ 3.5GHz帯(その2)

14

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和4年度評価
定量 D6	3.5GHz帯 ・ 通信量	3.5MHz帯（4G+5G）について、北陸・近畿の通信量（月間総トラフィック）が前年度より減少している。この要因及び今後の増減見通しを教えてください。	【令和5年度】北陸・近畿における通信量が、前年度実績値未滿（進捗評価：C評価に該当）となっており、この要因及び今後の増減見通しについて確認する。	－

○令和5年度調査結果 3.5GHz帯 ドコモ 通信量（月間総トラフィック）

■ 令和4年度ドコモ, ■ 令和4年度KDDI/沖縄セル, ■ 令和4年度ソフトバンク
■ 令和3年度



NTTドコモ 詳細⑦ 3.5GHz帯(その3)

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和4年度評価
定量 D7	3.5GHz帯 ・ 技術導入状況	3.5MHz帯（4G+5G）について、全国・関東・信越・東海・近畿・九州における8MIMOの導入局数が減少している。 この要因を教えてください。	【令和5年度】8MIMOの局数について、東北を除き前年度より減少し、全国及び一部地域では前年度実績値－30%未満（進捗評価：C評価に該当）となっており、この減少要因について確認する。	－

○令和5年度調査結果 3.5GHz帯 技術導入状況

+10%超え

±10%以内

-10%未満、-30%以上

-30%未満

		ドコモ(4G+5G)							KDDI/沖縄セル(4G+5G)							ソフトバンク(4G)						
		CA	2MIMO	4MIMO	8MIMO	MMIMO	256QAM	UL64QAM	CA	2MIMO	4MIMO	8MIMO	MMIMO	256QAM	UL64QAM	CA	2MIMO	4MIMO	8MIMO	MMIMO	256QAM	UL64QAM
全国	R5	30,901	30,891	25,049	1,902	0	30,887	30,807	19,709	19,817	17,749	456	3	15,610	18,402	29,194	28,959	26,719	24,320	367	29,063	29,265
	R4	30,896	30,899	24,675	7,380	0	30,895	28,943	18,490	18,501	15,927	6	1	13,473	16,834	29,356	29,196	26,841	24,465	329	29,443	29,389
	比率	0%	0%	2%	-74%	-	0%	6%	7%	7%	11%	7500%	200%	16%	9%	-1%	-1%	0%	-1%	12%	-1%	0%
北海道	R5	1,260	1,260	1,181	0	0	1,260	1,260	724	736	736	0	0	736	736	1,070	1,086	1,077	1,013	6	1,089	1,088
	R4	1,258	1,258	1,172	0	0	1,258	1,258	454	454	454	0	0	454	454	1,070	1,091	1,082	1,018	6	1,097	1,093
	比率	0%	0%	1%	-	-	0%	0%	59%	62%	62%	-	-	62%	62%	0%	0%	0%	0%	0%	-1%	0%
東北	R5	1,738	1,738	1,530	51	0	1,738	1,736	1,434	1,441	1,441	0	0	1,441	1,441	2,167	2,175	2,166	1,992	1	2,166	2,176
	R4	1,714	1,714	1,434	13	0	1,714	0	1,111	1,112	1,112	0	0	1,112	1,112	2,127	2,136	2,127	1,967	0	2,131	2,118
	比率	1%	1%	7%	292%	-	1%	-	29%	30%	30%	-	-	30%	30%	2%	2%	2%	1%	-	2%	3%
関東	R5	12,257	12,257	8,530	1,085	0	12,257	12,257	8,225	8,217	6,450	5	3	6,059	7,077	9,953	9,895	8,753	7,955	112	9,962	9,951
	R4	12,190	12,193	8,438	4,498	0	12,193	12,193	8,384	8,391	6,353	6	1	5,789	7,001	9,833	9,802	8,690	7,906	92	9,846	9,829
	比率	1%	1%	1%	-76%	-	1%	1%	-2%	-2%	2%	-17%	200%	5%	1%	1%	1%	1%	1%	22%	1%	1%
信越	R5	852	852	614	0	0	852	852	563	565	565	0	0	271	565	1,192	1,202	1,202	1,137	6	1,206	1,208
	R4	851	851	616	116	0	851	851	439	439	439	0	0	149	439	1,211	1,227	1,227	1,158	2	1,228	1,200
	比率	0%	0%	0%	-100%	-	0%	0%	28%	29%	29%	-	-	82%	29%	-2%	-2%	-2%	-2%	200%	-2%	1%
北陸	R5	819	819	701	0	0	819	819	478	479	479	0	0	479	479	860	869	828	752	0	867	869
	R4	824	824	685	0	0	824	824	345	346	346	0	0	346	346	865	877	820	744	0	877	876
	比率	-1%	-1%	2%	-	-	-1%	-1%	39%	38%	38%	-	-	38%	38%	-1%	-1%	1%	1%	-	-1%	-1%
東海	R5	3,033	3,023	2,873	332	0	3,033	3,014	1,683	1,689	1,664	0	0	1,040	1,690	3,472	3,463	3,426	3,194	13	3,458	3,473
	R4	3,042	3,042	2,712	728	0	3,042	3,026	1,761	1,761	1,502	0	0	804	1,762	3,436	3,427	3,391	3,152	13	3,430	3,435
	比率	0%	-1%	6%	-54%	-	0%	0%	-4%	-4%	11%	-	-	29%	-4%	1%	1%	1%	1%	0%	1%	1%
近畿	R5	5,379	5,379	4,676	379	0	5,379	5,314	3,061	3,067	2,791	27	0	1,961	2,791	5,431	5,214	4,830	4,292	211	5,428	5,431
	R4	5,388	5,388	4,654	1,965	0	5,388	5,388	3,088	3,088	2,811	0	0	1,910	2,811	5,423	5,227	4,790	4,250	199	5,414	5,420
	比率	0%	0%	0%	-81%	-	0%	-1%	-1%	-1%	-1%	-	-	3%	-1%	0%	0%	1%	1%	6%	0%	0%
中国	R5	1,352	1,352	1,069	0	0	1,352	1,352	1,184	1,206	1,206	179	0	1,206	1,206	1,497	1,498	1,363	1,220	0	1,431	1,497
	R4	1,357	1,357	1,045	0	0	1,357	1,135	960	960	960	0	0	960	960	1,500	1,504	1,339	1,206	0	1,503	1,503
	比率	0%	0%	2%	-	-	0%	19%	23%	26%	26%	-	-	26%	26%	0%	0%	2%	1%	-	-5%	0%
四国	R5	1,112	1,112	1,070	0	0	1,106	1,112	497	506	506	50	0	506	506	691	692	667	615	1	690	693
	R4	1,125	1,125	1,073	0	0	1,121	1,121	403	403	403	0	0	403	403	687	690	666	611	0	690	690
	比率	-1%	-1%	0%	-	-	-1%	-1%	23%	26%	26%	-	-	26%	26%	1%	0%	0%	1%	-	0%	0%
九州	R5	2,795	2,795	2,512	55	0	2,787	2,787	1,570	1,620	1,620	195	0	1,620	1,620	2,582	2,580	2,178	1,949	17	2,487	2,595
	R4	2,840	2,840	2,550	60	0	2,840	2,840	1,286	1,288	1,288	0	0	1,288	1,288	2,919	2,924	2,480	2,248	17	2,937	2,935
	比率	-2%	-2%	-1%	-8%	-	-2%	-2%	22%	26%	26%	-	-	26%	26%	-12%	-12%	-12%	-13%	0%	-15%	-12%
沖縄	R5	304	304	293	0	0	304	304	290	291	291	0	0	291	291	279	285	229	201	0	279	284
	R4	307	307	296	0	0	307	307	259	259	259	0	0	258	258	285	291	229	205	0	290	290
	比率	-1%	-1%	-1%	-	-	-1%	-1%	12%	12%	12%	-	-	13%	13%	-2%	-2%	0%	-2%	-	-4%	-2%

(注)2MIMO, 4MIMO, 8MIMOの基地局数はMMIMOの基地局数を含まない

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和4年度評価
定量 D8	3.4GHz帯 ・ 基地局数 人口カバー率 面積カバー率	3.4GHz帯（4G+5G）について、近畿・沖縄において、基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%を下回っている。この要因及び今後の展開方針について教えてください。 また、本年度は、北海道・関東において、いずれの地域も人口カバー率が周波数帯平均値の90%超となっている。人口カバー率の拡大に向けてどのような取組をされたのか教えてください。	【昨年度から改善】人口カバー率・面積カバー率の拡大については、令和4年度評価結果において引き続き努力すべきとした事項である。 近畿・沖縄において、基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当） となった要因及び今後の展開方針については継続的に確認するとともに、 昨年度から改善がみられた北海道・関東における人口カバー率の拡大に向けた取組の状況について確認する。	一部の地域で人口カバー率及び面積カバー率が他社に比べて低いため、カバー率の拡大に向けて努力すべきである。

○令和5年度 評価（暫定）

R5実績評価（暫定）【4G+5G】

	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		評価	技術導入率	総合的な評価
	平均比	実績値	平均比	実績値	平均比	実績値			
全国	57.2%	10,439	90.5%	64.22%	68.4%	7.11%	B	S	B
北海道	39.1%	216	92.4%	65.59%	31.8%	1.59%	B	S	B
東北	42.8%	388	95.1%	62.50%	82.2%	7.23%	B	S	B
関東	61.9%	4,652	90.5%	65.07%	62.8%	10.48%	B	S	B
信越	55.9%	315	89.1%	61.27%	78.9%	8.84%	B	S	B
北陸	39.1%	136	85.1%	61.42%	73.7%	10.69%	B	S	B
東海	53.7%	1,024	91.3%	64.11%	89.5%	14.95%	B	S	B
近畿	62.6%	1,791	86.7%	63.78%	53.2%	6.91%	C	S	C
中国	29.5%	292	93.0%	61.56%	76.7%	7.36%	B	S	B
四国	72.6%	339	98.2%	65.86%	94.0%	8.46%	A	S	S
九州	60.0%	1,192	91.2%	65.23%	63.2%	7.77%	B	S	B
沖縄	68.1%	94	86.5%	65.04%	40.5%	8.59%	C	S	C

R5進捗評価（暫定）【4G+5G】

	基地局数			人口カバー率			総合的な評価	技術導入状況
	評価	計画値差	実績値	評価	計画値差	実績値		
全国	A	+219	10,439	S	+4.12	64.22%	S	S
北海道	A	+20	216	S	+5.49	65.59%	S	S
東北	A	+10	388	S	+2.40	62.50%	S	S
関東	A	+1	4,652	S	+5.07	65.07%	S	S
信越	A	+38	315	S	+1.27	61.27%	S	S
北陸	A	+6	136	S	+1.22	61.42%	S	S
東海	A	+6	1,024	S	+4.11	64.11%	S	S
近畿	A	+61	1,791	S	+3.78	63.78%	S	S
中国	A	+23	292	S	+1.46	61.56%	S	S
四国	A	+46	339	S	+5.76	65.86%	S	S
九州	A	+5	1,192	S	+5.13	65.23%	S	S
沖縄	A	+3	94	S	+4.94	65.04%	S	S

○（参考）令和4年度評価結果

R4実績評価【4G】

	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		評価	技術導入率	総合的な評価
	平均比	実績値	平均比	実績値	平均比	実績値			
全国	60.0%	4,909	79.9%	35.14%	78.3%	4.54%	B	S	B
北海道	34.8%	87	75.9%	28.32%	33.3%	0.70%	C	S	C
東北	44.7%	188	93.5%	40.67%	88.5%	4.60%	B	S	B
関東	58.0%	1,880	65.8%	25.68%	64.3%	5.08%	C	S	C
信越	74.6%	203	84.7%	37.86%	90.5%	5.88%	B	S	B
北陸	63.8%	113	89.7%	55.71%	83.1%	9.80%	B	S	B
東海	73.6%	626	80.7%	35.73%	92.7%	8.90%	B	S	B
近畿	49.0%	550	78.4%	35.92%	55.4%	3.60%	C	S	C
中国	44.5%	206	88.0%	41.61%	84.0%	4.87%	B	S	B
四国	91.6%	251	100.5%	51.97%	104.0%	6.45%	A	S	S
九州	73.3%	743	96.6%	47.83%	91.9%	6.25%	A	S	S
沖縄	66.0%	62	84.8%	52.09%	43.5%	7.18%	C	S	C

R4進捗評価【4G】

	基地局数（※1）			人口カバー率			総合的な評価（※2）	技術導入状況
	評価	計画値比	実績値	評価	計画値比	実績値		
全国	A	+1,268	4,909	S	+11.6	35.14%	S	S
北海道	-	-	87	S	+4.3	28.32%	-	S
東北	-	-	188	S	+13.9	40.67%	-	S
関東	-	-	1,880	S	+8.4	25.68%	-	S
信越	-	-	203	S	+5.9	37.86%	-	S
北陸	-	-	113	S	+24.0	55.71%	-	S
東海	-	-	626	S	+18.8	35.73%	-	S
近畿	-	-	550	S	+14.1	35.92%	-	S
中国	-	-	206	S	+20.9	41.61%	-	S
四国	-	-	251	S	+14.5	51.97%	-	S
九州	-	-	743	S	+24.6	47.83%	-	S
沖縄	-	-	62	S	+28.6	52.09%	-	S

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和4年度評価
定量 D9	3.7GHz帯 ・ 基地局数 人口カバー率 面積カバー率	3.7GHz帯（5G）について、北海道・関東・東海において、基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%を下回っている。 また、当該地域では、他地域に比べ展開が進んでいないように見受けられる。 これらの要因について教えてください。	【令和5年度】北海道・関東・東海において、 基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当） となった要因、また、人口カバー率の実績値が、昨年度比較で、北海道は+0.28%、関東は+0.39%、東海は+0.7%であり、他地域に比べ展開が進んでいない状況が見受けられ、この要因について確認する。	－

○令和5年度 評価（暫定）

R 5 実績評価（暫定）【5G】

	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		評価	技術 導入率	総合的な 評価
	平均比	実績値	平均比	実績値	平均比	実績値			
全国	78.0%	7,958	77.2%	20.31%	102.1%	4.90%	B	S	B
北海道	81.8%	598	45.2%	18.12%	24.8%	0.72%	C	S	C
東北	66.0%	608	81.8%	27.07%	71.1%	3.13%	B	S	B
関東	59.1%	1,693	13.1%	1.72%	59.1%	1.95%	C	S	C
信越	117.0%	538	159.2%	60.82%	168.3%	11.61%	S	S	S
北陸	109.0%	352	140.1%	62.34%	132.2%	10.71%	S	S	S
東海	50.9%	523	19.6%	2.82%	43.1%	1.51%	C	S	C
近畿	72.4%	940	46.6%	16.55%	80.4%	5.79%	B	S	B
中国	96.5%	782	132.4%	55.74%	166.6%	9.83%	S	S	S
四国	137.2%	612	155.9%	66.72%	173.2%	10.22%	S	S	S
九州	102.6%	1,272	129.1%	52.92%	137.6%	9.22%	S	S	S
沖縄	48.8%	40	43.6%	4.71%	115.9%	4.29%	A	S	S

R 5 進捗評価（暫定）【5G】

	基地局数（屋外）			基地局数（屋内）			総合的な 評価	技術 導入状況
	評価	計画値差	実績値	評価	計画値差	実績値		
全国	S	+4,628	7,958	A	+1,329	2,398	S	S
北海道	S	+381	598	A	+94	147	S	S
東北	S	+214	608	A	+84	97	S	S
関東	A	+693	1,693	A	+444	1,019	A	S
信越	S	+408	538	A	+53	62	S	S
北陸	S	+263	352	A	+44	51	S	S
東海	A	+248	523	A	+97	182	A	S
近畿	A	+340	940	A	+69	213	A	S
中国	S	+591	782	A	+102	133	S	S
四国	S	+559	612	S	+110	118	S	S
九州	S	+925	1,272	A	+227	357	S	S
沖縄	A	+6	40	A	+5	19	A	S

○（参考）令和4年度評価結果

R 4 実績評価【5G】

	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		評価	技術導 入率	総合的 な評価
	平均比	実績値	平均比	実績値	平均比	実績値			
全国	131.2%	5,934	137.9%	15.44%	160.4%	3.69%	S	S	S
北海道	155.0%	417	118.9%	17.84%	66.6%	0.59%	A	S	S
東北	141.0%	413	137.4%	19.37%	108.9%	2.07%	S	S	S
関東	96.1%	1,389	38.0%	1.33%	118.2%	1.30%	A	S	S
信越	216.2%	387	235.5%	46.39%	247.1%	8.40%	S	S	S
北陸	163.6%	265	182.5%	56.03%	170.9%	9.57%	S	S	S
東海	91.4%	437	41.6%	2.12%	74.7%	1.12%	B	S	B
近畿	112.8%	712	64.0%	8.71%	117.1%	3.98%	A	S	S
中国	190.2%	599	208.1%	48.70%	222.8%	8.02%	S	S	S
四国	230.2%	465	220.5%	56.22%	238.9%	8.60%	S	S	S
九州	161.3%	826	188.2%	35.75%	203.3%	6.71%	S	S	S
沖縄	64.9%	24	124.6%	3.49%	156.3%	2.97%	A	S	S

R 4 進捗評価【5G】

	基地局数（屋外）			基地局数（屋内）			総合的 な評価 （※）	技術 導入 状況
	評価	計画値比	実績値	評価	計画値比	実績値		
全国	S	+5,225	5,934	A	+1,892	1,961	S	S
北海道	-	-	417	-	-	-	-	S
東北	-	-	413	-	-	-	-	S
関東	-	-	1,389	-	-	-	-	S
信越	-	-	387	-	-	-	-	S
北陸	-	-	265	-	-	-	-	S
東海	-	-	437	-	-	-	-	S
近畿	-	-	712	-	-	-	-	S
中国	-	-	599	-	-	-	-	S
四国	-	-	465	-	-	-	-	S
九州	-	-	826	-	-	-	-	S
沖縄	-	-	24	-	-	-	-	S

定量評価 KDDI／沖縄セルラー電話への質問項目（案）（その１）

18

■ KDDI／沖縄セルラー電話：計５問

- * …【令和５年度】：本年度の新たな質問項目
 …【昨年度と同様】：昨年度と同様な質問項目
 …【昨年度から改善】：昨年度、同様な質問項目であるが、一部で改善が見られるもの

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由*（送付時には「回答欄」とする）	（参考）R４評価概要
定量 K1	1.5GHz帯 ・ 人口カバー率 面積カバー率	1.5GHz帯（4G）について、昨年度と同様、北海道・東北・中国・四国・九州・沖縄の人口カバー率が50%以上70%未満、北海道・中国・四国・九州・沖縄の面積カバー率が周波数帯平均値の70%を下回っている。この要因及び今後の展開方針を教えてください。	【昨年度と同様】 人口カバー率及び面積カバー率の拡大については、令和４年度評価結果において引き続き努力すべきとした事項である。 人口カバー率は、北海道・東北・中国・四国・九州・沖縄で50%以上70%未満（実績評価：C評価に該当）、面積カバー率は、北海道・中国・四国・九州・沖縄で周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当）となっている要因及び今後の展開方針について継続的に確認する。	一部地域での人口カバー率や面積カバー率が低かったのは、エリアチューニングによるためとしているが、電波の有効利用の観点から、人口カバー率及び面積カバー率の拡大に向けて引き続き努力するべきである。
定量 K2	1.7GHz帯 (1805～1845MHz) ・ 人口カバー率 面積カバー率	1.7GHz帯（4G＋5G）について、全国及び各総通局（関東・東海・近畿を除く。）において、基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%を下回っている。この要因及び今後の展開方針について教えてください。 また、関東・東海・近畿においては、本年度はいずれの地域も人口カバー率が周波数帯平均値の90%超となっている。人口カバー率の拡大に向けてどのような取組をされたのか教えてください。	【昨年度から改善】 カバー率の拡大については、令和４年度評価結果において引き続き努力すべきと指摘した事項である。 全国及び各総通局（関東・東海・近畿を除く。）において、基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当）となった要因及び今後の展開方針については継続的に確認するとともに、昨年度から改善がみられた関東・東海・近畿における人口カバー率の拡大に向けた取組状況について確認する。	同社によれば終了促進措置の制約がある中、開設計画に従い進捗しており後年度には90%超を達成するとしている。 5Gエリアカバレッジのために活用するということであり、カバー率の拡大に向けて引き続き努力するべきである。
定量 K3	3.7GHz帯 ・ 基地局数(屋外)	3.7GHz帯（5G）について、基地局数（屋外）の数が、開設計画値と比較し、全国においては開設計画値以上となっているものの、関東・近畿において開設計画値を下回っている。この要因について教えてください。 また、前年度は、全国において基地局数（屋外）及び（屋内）ともに開設計画値未満であったところ、基地局の展開に向けどのような取組をされたのか教えてください。	【昨年度から改善】 昨年度は、全国の基地局数について、屋外・屋内ともに開設計画値を下回っており、カバー率の拡大については、令和４年度評価結果において引き続き努力すべきとした事項である。 本年度は、屋内は開設計画値以上、屋外は全国においては開設計画値以上である一方、関東・近畿は開設計画値より評価基準に定めた局数未満（進捗評価：C評価に該当）となった要因及び今後の展開方針については継続的に確認するとともに、昨年度から改善がみられた基地局展開の取組状況を確認する。	基地局数（屋外・屋内ともに）の全国の実績値が計画値を下回っている。新規伝送網の構築の遅れや半導体不足による納期遅延が生じたためとしているが、カバー率の拡大について努力するべき。

定量評価 KDDI／沖縄セルラー電話への質問項目（案）（その2）

19

- * …【令和5年度】：本年度の新たな質問項目
 …【昨年度と同様】：昨年度と同様な質問項目
 …【昨年度から改善】：昨年度、同様な質問項目であるが、一部で改善が見られるもの

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由*（送付時には「回答欄」とする）	（参考）R4評価概要
定量 K4	4.0GHz帯 ・ 面積カバー率	4.0GHz帯（5G）について、人口カバー率の実績値（沖縄を除く。）が1％に満たない状況となっている。この要因及び今後のカバー率拡大方針について教えてください。 ※今後のカバー率拡大方針については、令和4年度評価結果における検討課題に係る質問項目に同じ。	【令和5年度】 KDDIは、5G導入開設指針に基づき、Sub6において、3.7GHz帯と4.0GHz帯が割当てられている。このうち、4.0GHz帯の人口カバー率は、前年度に比べ、全国で+0.29％程度の拡大に留まっている状況。 なお、3.7GHz帯では、全国で+20.23％拡大している。電波の有効利用の観点から、4.0GHz帯の人口カバー率が低い要因について確認するとともに、今後のカバー率拡大方針について確認する。	－
定量 K5	3.7/4.0/28 GHz帯 ・ 高度特定基地局数 基盤展開率	5G高度特定基地局数・基盤展開率について、昨年度と同様、全国及び各総通局（沖縄を除く。）において、いずれも周波数帯平均値の70％を下回っている。この要因及び今後の展開方針について教えてください。 ※今後の展開方針については、令和4年度評価結果における検討課題に係る質問項目に同じ。	【昨年度から改善】 5G高度特定基地局数・基盤展開率が、いずれも周波数帯平均値の70％未満（実績評価：C評価に該当）となっている要因及び今後の展開方針について継続的に確認する。沖縄においては、昨年度から改善されている。	5G高度特定基地局数及び5G基盤展開率の実績値は計画値を上回っているものの、他社に比べて低い。5Gの早期普及のためにも、カバー率の拡大について引き続き努力すべきである。

※御回答にあたっては、文章にて御回答いただくとともに、可能な範囲で、パワーポイントにて、概要が分かる図等をお示しください。

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和4年度評価
定量 K1	1.5GHz帯 ・ 人口カバー率 面積カバー率	1.5GHz帯（4G）について、昨年度と同様、北海道・東北・中国・四国・九州・沖縄の人口カバー率が50%以上70%未満、北海道・中国・四国・九州・沖縄の面積カバー率が周波数帯平均値の70%を下回っている。 この要因及び今後の展開方針を教えてください。	【昨年度と同様】 人口カバー率及び面積カバー率の拡大については、令和4年度評価結果において引き続き努力すべきとした事項である。 人口カバー率は、北海道・東北・中国・四国・九州・沖縄で50%以上70%未満（実績評価：C評価に該当）、面積カバー率は、北海道・中国・四国・九州・沖縄で周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当）となっている要因及び今後の展開方針について継続的に確認する。	一部地域での人口カバー率や面積カバー率が低かったのは、エリアチューニングによるためとしているが、電波の有効利用の観点から、人口カバー率及び面積カバー率の拡大に向けて引き続き努力するべきである。

令和5年度 評価（暫定）

R 5 実績評価（暫定）【4G】

	基地局数			人口カバー率		面積カバー率			通信量	技術導入状況	総合的な評価
	評価	計画値差	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値			
全国	B	+4,746	11,107	B	77.41%	B	73.0%	15.18%	B	B	B
北海道	B	+107	318	C	63.88%	C	60.6%	5.15%	B	B	C
東北	B	+134	577	C	65.98%	B	83.6%	14.05%	B	B	C
関東	B	+2,000	5,070	B	85.06%	B	70.8%	31.28%	B	B	B
信越	B	+123	246	B	73.65%	B	79.6%	18.38%	B	B	B
北陸	B	+73	147	B	71.45%	B	76.6%	18.30%	B	B	B
東海	B	+749	1,221	B	88.53%	A	93.5%	27.97%	B	B	B
近畿	B	+1,304	2,236	B	87.82%	B	82.0%	24.35%	B	B	B
中国	B	+61	439	C	60.65%	C	60.5%	11.85%	B	B	C
四国	B	+37	166	C	52.32%	C	56.7%	9.87%	B	B	C
九州	B	+118	580	C	54.65%	C	57.0%	12.32%	B	B	C
沖縄	B	+40	107	C	69.23%	C	62.6%	16.22%	B	B	C

R 5 進捗評価（暫定）【4G】

	基地局数			人口カバー率		面積カバー率			総合的な評価	通信量	技術導入状況
	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値		
全国	A	+39	11,107	S	+1.52	77.41%	A	+0.06	15.18%	S	A
北海道	A	+4	318	S	+2.23	63.88%	A	+0.05	5.15%	S	A
東北	A	+9	577	S	+2.27	65.98%	A	+0.02	14.05%	S	A
関東	A	-18	5,070	S	+1.02	85.06%	A	+0.10	31.28%	S	S
信越	A	+4	246	S	+1.03	73.65%	A	+0.09	18.38%	S	A
北陸	A	±0	147	S	+1.07	71.45%	A	+0.08	18.30%	S	A
東海	A	+11	1,221	A	+1.00	88.53%	A	+0.19	27.97%	A	B
近畿	A	+20	2,236	S	+1.02	87.82%	A	+0.03	24.35%	S	B
中国	A	+2	439	S	+2.04	60.65%	A	+0.03	11.85%	S	B
四国	A	+4	166	S	+2.25	52.32%	A	+0.12	9.87%	S	B
九州	A	+1	580	S	+2.05	54.65%	A	+0.04	12.32%	S	B
沖縄	A	+2	107	A	+0.40	69.23%	A	+0.02	16.22%	A	B

（参考）令和4年度評価結果

R 4 実績評価【4G】

	基地局数			人口カバー率		面積カバー率			通信量	技術導入状況	総合的な評価
	評価	計画値比	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値			
全国	B	+4,707	11,068	B	75.89%	B	72.7%	15.12%	B	B	B
北海道	B	+103	314	C	61.65%	C	60.0%	5.10%	B	B	C
東北	B	+125	568	C	63.71%	B	83.5%	14.03%	B	B	C
関東	B	+2,018	5,088	B	84.04%	B	70.7%	31.18%	B	B	B
信越	B	+119	242	B	72.62%	B	79.2%	18.29%	B	B	B
北陸	B	+73	147	B	70.38%	B	76.2%	18.22%	B	B	B
東海	B	+738	1,210	B	87.53%	A	92.9%	27.78%	B	B	B
近畿	B	+1,284	2,216	B	86.80%	B	81.9%	24.32%	B	B	B
中国	B	+59	437	C	58.61%	C	60.3%	11.82%	B	B	C
四国	B	+33	162	C	50.07%	C	56.4%	9.75%	B	B	C
九州	B	+117	579	C	52.60%	C	56.9%	12.28%	B	B	C
沖縄	B	+38	105	C	68.83%	C	62.3%	16.20%	B	B	C

R 4 進捗評価【4G】

	基地局数（※1）			人口カバー率		面積カバー率			総合的な評価（※2）	通信量（※3）	技術導入率
	評価	前年度比	実績値	評価	前年度比	実績値	評価	前年度比	実績値		
全国	A	+148	11,068	A	+0.4	75.89%	A	+0.4	15.12%	A	S
北海道	-	-	314	B	-1.1	61.65%	A	+0.2	5.10%	-	S
東北	-	-	568	S	+1.1	63.71%	A	+0.8	14.03%	-	S
関東	-	-	5,088	A	-0.3	84.04%	A	±0	31.18%	-	S
信越	-	-	242	A	±0	72.62%	A	±0	18.29%	-	S
北陸	-	-	147	A	+0.5	70.38%	A	+0.1	18.22%	-	S
東海	-	-	1,210	S	+1.3	87.53%	A	+0.7	27.78%	-	S
近畿	-	-	2,216	S	+1.6	86.80%	S	+1.1	24.32%	-	S
中国	-	-	437	A	-0.7	58.61%	A	-0.3	11.82%	-	S
四国	-	-	162	A	+0.9	50.07%	A	+0.8	9.75%	-	S
九州	-	-	579	A	+0.3	52.60%	A	+0.6	12.28%	-	S
沖縄	-	-	105	S	+1.7	68.83%	S	+1.3	16.20%	-	A

KDDI/沖セル 詳細② 1.7GHz帯（1805～1845MHz）

21

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和4年度評価
定量 K2	1.7GHz帯 （1805～1845MHz） ・ 人口カバー率 面積カバー率	1.7GHz帯（4G＋5G）について、全国及び各総通局（関東・東海・近畿を除く。）において、基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%を下回っている。この要因及び今後の展開方針について教えてください。 また、関東・東海・近畿においては、本年度はいずれの地域も人口カバー率が周波数帯平均値の90%超となっている。人口カバー率の拡大に向けてどのような取組をされたのか教えてください。	【昨年度から改善】 カバー率の拡大については、令和4年度評価結果において引き続き努力すべきと指摘した事項である。 全国及び各総通局（関東・東海・近畿を除く。）において、基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当） となった要因及び今後の展開方針については継続的に確認するとともに、 昨年度から改善がみられた関東・東海・近畿 における人口カバー率の拡大に向けた取組状況について確認する。	同社によれば終了促進措置の制約がある中、開設計画に従い進捗しており後年度には90%超を達成するとしている。5Gエリアカバレッジのために活用するということであり、カバー率の拡大に向けて引き続き努力するべきである。

令和5年度 評価（暫定）

R5実績評価（暫定）【4G＋5G】

	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		評価	技術導入率	総合的な評価
	平均比	実績値	平均比	実績値	平均比	実績値			
全国	39.4%	13,804	89.2%	79.28%	52.5%	13.82%	C	S	C
北海道	34.9%	426	77.2%	61.90%	20.7%	3.07%	C	S	C
東北	17.2%	501	74.2%	57.02%	35.5%	7.73%	C	S	C
関東	50.2%	5,773	96.2%	92.24%	80.6%	41.28%	B	S	B
信越	22.6%	288	79.4%	63.91%	57.3%	13.12%	C	S	C
北陸	23.6%	199	82.2%	67.87%	57.0%	14.49%	C	S	C
東海	35.7%	1,371	92.6%	85.46%	71.3%	24.60%	B	S	B
近畿	50.5%	2,688	91.1%	82.87%	57.1%	19.57%	B	S	B
中国	32.6%	878	79.7%	63.90%	49.3%	12.27%	C	S	C
四国	30.7%	404	76.8%	60.18%	51.3%	11.09%	C	S	C
九州	29.5%	1,122	80.7%	65.75%	49.4%	14.86%	C	S	C
沖縄	47.1%	154	86.3%	74.94%	44.6%	15.91%	C	S	C

R5進捗評価（暫定）【4G＋5G】

	基地局数			人口カバー率			総合的な評価	技術導入状況
	評価	計画値差	実績値	評価	計画値差	実績値		
全国	A	+1,921	13,804	S	+30.82	79.28%	S	S
北海道	S	+426	426	S	+61.90	61.90%	S	S
東北	S	+293	501	S	+46.89	57.02%	S	S
関東	A	+133	5,773	S	+18.95	92.24%	S	S
信越	S	+171	288	S	+50.11	63.91%	S	S
北陸	A	+54	199	S	+45.25	67.87%	S	S
東海	S	+535	1,371	S	+56.11	85.46%	S	S
近畿	A	±0	2,688	S	+12.51	82.87%	S	S
中国	A	±0	878	S	+24.76	63.90%	S	S
四国	A	+38	404	S	+34.71	60.18%	S	S
九州	A	+117	1,122	S	+32.06	65.75%	S	S
沖縄	S	+154	154	S	+74.94	74.94%	S	S

（参考）令和4年度評価結果

R4実績評価【4G＋5G】

	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		評価	技術導入率	総合的な評価
	平均比	実績値	平均比	実績値	平均比	実績値			
全国	28.9%	7,220	65.2%	46.86%	35.5%	6.99%	C	S	C
北海道	9.1%	76	21.7%	11.72%	6.3%	0.71%	C	S	C
東北	5.3%	101	13.7%	6.87%	7.8%	1.23%	C	S	C
関東	39.9%	3,670	86.0%	74.80%	68.5%	29.58%	C	S	C
信越	18.1%	146	47.0%	28.70%	34.6%	5.60%	C	S	C
北陸	4.9%	29	20.9%	11.18%	16.2%	2.86%	C	A	C
東海	22.5%	625	66.9%	49.54%	48.9%	13.01%	C	S	C
近畿	31.6%	1,089	55.2%	37.34%	28.2%	6.25%	C	S	C
中国	30.8%	572	59.4%	39.55%	40.7%	7.73%	C	S	C
四国	29.5%	258	48.4%	29.71%	39.4%	6.39%	C	A	C
九州	25.4%	643	54.2%	34.82%	40.3%	8.95%	C	S	C
沖縄	6.9%	11	16.8%	8.83%	6.7%	1.53%	C	S	C

R4進捗評価【4G＋5G】

	基地局数（※1）			人口カバー率			総合的な評価（※2）	技術導入状況
	評価	計画値比	実績値	評価	計画値比	実績値		
全国	A	+18	7,220	S	+17.6	46.86%	S	S
北海道	-	-	76	S	+11.7	11.72%	-	S
東北	-	-	101	S	+6.9	6.87%	-	S
関東	-	-	3,670	S	+22.6	74.80%	-	S
信越	-	-	146	S	+24.8	28.70%	-	S
北陸	-	-	29	S	+8.0	11.18%	-	S
東海	-	-	625	S	+37.9	49.54%	-	S
近畿	-	-	1,089	C	-9.0	37.34%	-	S
中国	-	-	572	S	+25.0	39.55%	-	S
四国	-	-	258	S	+24.0	29.71%	-	S
九州	-	-	643	S	+23.7	34.82%	-	S
沖縄	-	-	11	S	+8.8	8.83%	-	S

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和４年度評価
定量 K3	3.7GHz帯 ・ 基地局数(屋外)	3.7GHz帯（5G）について、基地局数（屋外）の数が、開設計画値と比較し、全国においては開設計画値以上となっているものの、関東・近畿において開設計画値を下回っている。この要因について教えてください。 また、前年度は、全国において基地局数（屋外）及び（屋内）ともに開設計画値未満であったところ、基地局の展開に向けどのような取組をされたのか教えてください。	【昨年度から改善】昨年度は、全国の基地局数について、屋外・屋内ともに開設計画値を下回っており、カバー率の拡大については、令和４年度評価結果において引き続き努力すべきとした事項である。本年度は、屋内は開設計画値以上、屋外は全国においては開設計画値以上である一方、 関東・近畿は開設計画値より評価基準に定めた局数未満（進捗評価：C評価に該当） となった要因及び今後の展開方針については継続的に確認するとともに、昨年度から改善がみられた基地局展開の取組状況を確認する。	基地局数（屋外・屋内ともに）の全国の実績値が計画値を下回っている。新規伝送網の構築の遅れや半導体不足による納期遅延が生じたためとしているが、カバー率の拡大について努力するべき。

○令和５年度 評価（暫定）

R 5実績評価（暫定）【5G】

	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		評価	技術導入率	総合的な評価
	平均比	実績値	平均比	実績値	平均比	実績値			
全国	166.3%	16,965	86.1%	22.64%	49.0%	2.35%	A	S	S
北海道	159.8%	1,168	106.8%	42.84%	45.9%	1.33%	A	S	S
東北	184.6%	1,700	85.9%	28.44%	46.8%	2.06%	A	S	S
関東	170.2%	4,875	84.6%	11.08%	41.5%	1.37%	A	S	S
信越	176.1%	810	56.1%	21.43%	39.1%	2.70%	A	S	S
北陸	133.4%	431	63.2%	28.14%	38.5%	3.12%	A	S	S
東海	191.6%	1,970	95.6%	13.76%	67.4%	2.36%	A	S	S
近畿	154.2%	2,001	90.8%	32.22%	46.8%	3.37%	A	S	S
中国	164.3%	1,331	90.8%	38.22%	58.0%	3.42%	A	S	S
四国	133.9%	597	65.7%	28.10%	45.3%	2.67%	A	S	S
九州	157.0%	1,947	83.6%	34.29%	56.7%	3.80%	A	S	S
沖縄	164.6%	135	218.2%	23.57%	88.1%	3.26%	A	S	S

R 5進捗評価（暫定）【5G】

	基地局数（屋外）			基地局数（屋内）			総合的な評価	技術導入状況
	評価	計画値差	実績値	評価	計画値差	実績値		
全国	A	+152	16,965	A	+61	1,394	A	S
北海道	S	+228	1,168	A	+8	25	S	S
東北	S	+531	1,700	A	+12	49	S	S
関東	C	-1,082	4,875	B	-35	635	C	S
信越	S	+283	810	A	+12	29	S	S
北陸	A	+67	431	A	+12	18	A	S
東海	A	+182	1,970	B	-9	249	B	S
近畿	C	-977	2,001	B	-3	238	C	S
中国	S	+287	1,331	A	+24	50	S	S
四国	S	+111	597	A	+10	17	S	S
九州	S	+419	1,947	A	+11	63	S	S
沖縄	S	+103	135	A	+19	21	S	S

○（参考）令和４年度評価結果

R 4実績評価【5G】

	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		評価	技術導入率	総合的な評価
	平均比	実績値	平均比	実績値	平均比	実績値			
全国	106.0%	4,794	21.5%	2.41%	28.7%	0.66%	B	S	B
北海道	71.4%	192	14.3%	2.14%	31.1%	0.28%	C	S	C
東北	76.1%	223	10.5%	1.48%	28.4%	0.54%	C	S	C
関東	143.7%	2,076	37.1%	1.30%	37.3%	0.41%	A	S	S
信越	81.0%	145	19.1%	3.77%	28.2%	0.96%	C	S	C
北陸	52.5%	85	5.4%	1.67%	12.5%	0.70%	C	S	C
東海	143.3%	685	17.5%	0.89%	48.7%	0.73%	A	S	S
近畿	109.8%	693	31.3%	4.25%	33.8%	1.15%	B	S	B
中国	62.2%	196	11.9%	2.79%	30.0%	1.08%	C	S	C
四国	45.0%	91	11.8%	3.01%	16.4%	0.59%	C	S	C
九州	72.7%	372	27.2%	5.17%	32.4%	1.07%	C	S	C
沖縄	97.3%	36	57.5%	1.61%	32.6%	0.62%	B	S	B

R 4進捗評価【5G】

	基地局数（屋外）			基地局数（屋内）			総合的な評価（※）	技術導入状況
	評価	計画値比	実績値	評価	計画値比	実績値		
全国	C	-3,078	4,794	B	-68	432	C	S
北海道	-	-	192	-	-	-	-	S
東北	-	-	223	-	-	-	-	S
関東	-	-	2,076	-	-	-	-	S
信越	-	-	145	-	-	-	-	S
北陸	-	-	85	-	-	-	-	S
東海	-	-	685	-	-	-	-	S
近畿	-	-	693	-	-	-	-	S
中国	-	-	196	-	-	-	-	S
四国	-	-	91	-	-	-	-	S
九州	-	-	372	-	-	-	-	S
沖縄	-	-	36	-	-	-	-	S

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和４年度評価
定量 K4	4.0GHz帯 ・ 面積カバー率	4.0GHz帯（5G）について、人口カバー率の実績値（沖縄を除く。）が１％に満たない状況となっている。 この要因及び今後のカバー率拡大方針について教えてください。 ※今後のカバー率拡大方針については、令和４年度評価結果における検討課題に係る質問項目に同じ。	【令和５年度】 KDDIは、5G導入開設指針に基づき、Sub6において、3.7GHz帯と4.0GHz帯が割当てられている。このうち、4.0GHz帯の人口カバー率は、前年度に比べ、全国で+0.29%程度の拡大に留まっている状況。なお、3.7GHz帯では、全国で+20.23%拡大している。 電波の有効利用の観点から、4.0GHz帯の人口カバー率が低い要因について確認 するとともに、今後のカバー率拡大方針について確認する。	－

○令和５年度 評価（暫定）

R 5実績評価（暫定）【5G】

	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		評価(※)	技術導入率	総合的な評価
	平均比	実績値	平均比	実績値	平均比	実績値			
全国	-	853	-	0.31%	-	0.05%	-	S	R
北海道	-	100	-	0.39%	-	0.02%	-	S	R
東北	-	140	-	0.38%	-	0.06%	-	S	R
関東	-	149	-	0.07%	-	0.02%	-	S	R
信越	-	49	-	0.12%	-	0.05%	-	S	R
北陸	-	32	-	0.16%	-	0.04%	-	S	R
東海	-	56	-	0.10%	-	0.04%	-	S	R
近畿	-	35	-	0.00%	-	0.01%	-	S	R
中国	-	55	-	0.23%	-	0.03%	-	S	R
四国	-	32	-	0.47%	-	0.03%	-	A	R
九州	-	78	-	0.10%	-	0.03%	-	S	R
沖縄	-	127	-	16.38%	-	2.29%	-	S	R

R 5進捗評価（暫定）【5G】

	基地局数（屋外）			基地局数（屋内）			総合的な評価	技術導入状況
	評価	計画値差	実績値	評価	計画値差	実績値		
全国	A	+231	853	A	+25	1,358	A	S
北海道	A	+7	100	A	+5	22	A	S
東北	A	+10	140	A	+9	46	A	S
関東	A	+85	149	B	-56	614	B	S
信越	A	+4	49	A	+8	25	A	S
北陸	A	+8	32	A	+11	17	A	S
東海	A	+6	56	B	-6	252	B	S
近畿	A	+4	35	A	+13	254	A	S
中国	A	+2	55	A	+23	49	A	S
四国	A	±0	32	A	+10	17	A	S
九州	A	+1	78	A	+3	55	A	S
沖縄	S	+104	127	A	+5	7	S	S

○（参考）令和４年度評価結果

R 4実績評価【5G】

	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		評価(※)	技術導入率	総合的な評価(※)
	平均比	実績値	平均比	実績値	平均比	実績値			
全国	-	170	-	0.02%	-	0.01%	-	S	R
北海道	-	9	-	0.04%	-	0.00%	-	S	R
東北	-	28	-	0.09%	-	0.01%	-	S	R
関東	-	30	-	0.00%	-	0.00%	-	S	R
信越	-	15	-	0.01%	-	0.00%	-	S	R
北陸	-	8	-	0.05%	-	0.02%	-	S	R
東海	-	19	-	0.01%	-	0.00%	-	S	R
近畿	-	16	-	0.00%	-	0.00%	-	S	R
中国	-	15	-	0.03%	-	0.01%	-	S	R
四国	-	7	-	0.35%	-	0.01%	-	S	R
九州	-	14	-	0.00%	-	0.00%	-	S	R
沖縄	-	9	-	0.05%	-	0.08%	-	S	R

R 4進捗評価【5G】

	基地局数（屋外）			基地局数（屋内）			総合的な評価(※)	技術導入状況
	評価	計画値比	実績値	評価	計画値比	実績値		
全国	A	+28	170	B	-233	267	B	S
北海道	-	-	9	-	-	-	-	S
東北	-	-	28	-	-	-	-	S
関東	-	-	30	-	-	-	-	S
信越	-	-	15	-	-	-	-	S
北陸	-	-	8	-	-	-	-	S
東海	-	-	19	-	-	-	-	S
近畿	-	-	16	-	-	-	-	S
中国	-	-	15	-	-	-	-	S
四国	-	-	7	-	-	-	-	S
九州	-	-	14	-	-	-	-	S
沖縄	-	-	9	-	-	-	-	S

KDDI/沖セル 詳細⑤ 5G高度特定基地局数・基盤展開率

24

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和4年度評価
定量 K5	3.7/4.0/28 GHz帯 ・ 高度特定基地局数 基盤展開率	5G高度特定基地局数・基盤展開率について、昨年度と同様、全国及び各総通局（沖縄を除く。）において、いずれも周波数帯平均値の70%を下回っている。この要因及び今後の展開方針について教えてください。 ※今後の展開方針については、令和4年度評価結果における検討課題に係る質問項目に同じ。	【昨年度から改善】 5G高度特定基地局数・基盤展開率が、いずれも周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当）となっている要因及び今後の展開方針について継続的に確認する。沖縄においては、昨年度から改善されている。	5G高度特定基地局数及び5G基盤展開率の実績値は計画値を上回っているものの、他社に比べて低い。5Gの早期普及のためにも、カバー率の拡大について引き続き努力すべきである。

○令和5年度 評価（暫定）

R 5 実績評価（暫定）

	5G高度特定基地局数		5G基盤展開率		評価
	平均比	実績値	平均比	実績値	
全国	19.7%	685	42.5%	14.40%	C
北海道	31.2%	100	38.9%	10.43%	C
東北	39.4%	140	51.0%	17.74%	C
関東	7.0%	74	42.6%	16.06%	C
信越	36.0%	49	50.2%	16.55%	C
北陸	35.6%	32	47.8%	19.35%	C
東海	16.5%	56	41.9%	16.05%	C
近畿	7.6%	35	28.1%	10.89%	C
中国	25.7%	55	35.5%	13.77%	C
四国	26.2%	32	39.1%	12.70%	C
九州	22.9%	78	38.4%	12.64%	C
沖縄	68.0%	34	107.1%	29.35%	B

R 5 進捗評価（暫定）

	5G高度特定基地局数			5G基盤展開率			総合的な評価
	評価	計画値差	実績値	評価	計画値差	実績値	
全国	A	+63	685	A	+0.47	14.40%	A
北海道	A	+7	100	A	+0.33	10.43%	A
東北	A	+10	140	A	+0.27	17.74%	A
関東	A	+10	74	A	±0.00	16.06%	A
信越	A	+4	49	A	+0.36	16.55%	A
北陸	A	+8	32	S	+3.87	19.35%	S
東海	A	+6	56	A	+0.93	16.05%	A
近畿	A	+4	35	A	+0.66	10.89%	A
中国	A	+2	55	A	±0.00	13.77%	A
四国	A	±0	32	A	±0.00	12.70%	A
九州	A	+1	78	A	±0.00	12.64%	A
沖縄	A	+11	34	S	+4.35	29.35%	S

○（参考）令和4年度評価結果

R 4 実績評価

	高度特定基地局数		基盤展開率		評価
	平均比	実績値	平均比	実績値	
全国	9.5%	169	18.7%	3.27%	C
北海道	6.0%	9	6.0%	0.77%	C
東北	16.4%	28	17.9%	2.96%	C
関東	5.9%	30	30.0%	6.33%	C
信越	25.4%	15	33.8%	5.04%	C
北陸	14.3%	8	18.5%	4.52%	C
東海	10.1%	19	25.2%	5.56%	C
近畿	6.2%	16	18.3%	4.29%	C
中国	13.3%	15	17.0%	3.38%	C
四国	11.3%	7	16.6%	2.78%	C
九州	7.6%	14	11.8%	1.97%	C
沖縄	29.6%	8	62.4%	7.61%	C

R 4 進捗評価

	5G高度特定基地局数			5G基盤展開率			総合的な評価（※）
	評価	計画値比	実績値	評価	計画値比	実績値	
全国	A	+27	169	A	+0.09	3.27%	A
北海道	-	-	9	B	-0.22	0.77%	-
東北	-	-	28	C	-1.21	2.96%	-
関東	-	-	30	A	+0.73	6.33%	-
信越	-	-	15	A	±0	5.04%	-
北陸	-	-	8	C	-1.29	4.52%	-
東海	-	-	19	S	+1.86	5.56%	-
近畿	-	-	16	A	+0.66	4.29%	-
中国	-	-	15	B	-0.26	3.38%	-
四国	-	-	7	A	+0.80	2.78%	-
九州	-	-	14	A	+0.16	1.97%	-
沖縄	-	-	8	S	+4.35	7.61%	-

定量評価 ソフトバンクへの質問項目（案）（その1）

25

■ソフトバンク：計7問

- * …【令和5年度】:本年度の新たな質問項目
 …【昨年度と同様】:昨年度と同様な質問項目
 …【昨年度から改善】:昨年度、同様な質問項目であるが、一部で改善が見られるもの

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由*（送付時には「回答欄」とする）	（参考）R4評価概要
定量 S1	700MHz帯 ・ 面積カバー率	700MHz帯（4G+5G）について、北海道の面積カバー率が、周波数帯平均値の70%を下回っている。この要因を教えてください。	【昨年度から改善】 北海道の面積カバー率が、周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当）となっている要因について継続的に確認する。なお、昨年度は、中国においても周波数帯平均値の70%未満であったところ。	－
定量 S2	2GHz帯 ・ 面積カバー率	2GHz帯（4G）について、北海道の面積カバー率が、周波数帯平均値の70%を下回っている。この要因を教えてください。	【昨年度と同様】 北海道の面積カバー率が、周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当）となっている要因について継続的に確認する。	－
定量 S3	3.5GHz帯 ・ 基地局数 人口カバー率 面積カバー率	3.5GHz帯（4G）について、全国及び全ての総通局の人口カバー率が50%以上70%未満、全国及び各総通局（東海・沖縄を除く。）の面積カバー率が周波数帯平均値の70%を下回っている。 また、前年度と比較し、基地局数は全国・北海道・信越・北陸・中国・九州・沖縄において減少、人口カバー率は九州において減少、面積カバー率は全国・信越・九州において減少している。 これらの要因及び今後の展開方針を教えてください。	【昨年度と同様】 人口カバー率の拡大については、令和4年度評価結果において引き続き努力すべきとした事項である。 人口カバー率は全国及び全ての総通局において50%以上70%未満（実績評価：C評価に該当）、面積カバー率は東海・沖縄を除き周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当）となっている。 また、基地局数、人口カバー率及び面積カバー率について、前年度比較で減少が見られるところ。これら要因を確認するとともに、今後の展開方針について確認する。	同社によれば、都心部等のトラフィック対策のために活用し、今後エリアも広げる計画を有するとしているが、電波の有効利用の観点からは、人口カバー率の拡大について引き続き努力するべきである。
定量 S4	3.5GHz帯 ・ 通信量	3.5GHz帯（4G）について、全国及び各総通局（北海道・信越を除く。）における通信量（月間総トラフィック）が前年度より減少している。この要因及び今後の増減見込みを教えてください。	【昨年度と同様】 全国及び各総通局（北海道・信越を除く。）の通信量が、前年度実績値未満（進捗評価：C評価に該当）となっており、この要因及び今後の増減見込みについて継続的に確認する。	通信量がコロナ禍の影響等により一時的に下回っているということであるが、他の携帯電話事業者は同条件下で通信量は増加しており、通信量の拡大に備えて引き続き努力すべきである。

定量評価 ソフトバンクへの質問項目（案）（その2）

26

- * …【令和5年度】:本年度の新たな質問項目
 …【昨年度と同様】:昨年度と同様な質問項目
 …【昨年度から改善】:昨年度、同様な質問項目であるが、一部で改善が見られるもの

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由*（送付時には「回答欄」とする）	（参考）R4評価概要
定量 S5	3.7GHz帯 ・ 基地局数 人口カバー率 面積カバー率	3.7GHz帯（5G）について、沖縄において、基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%を下回っている。この要因と今後の展開方針について教えてください。	【昨年度と同様】 カバー率の拡大については、令和4年度評価結果において引き続き努力すべきとした事項である。 沖縄において、 基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当） となった要因、特に人口カバー率は前年度から+2.24%に留まっているところ、その要因と今後の展開方針について継続的に確認する。	同社は、信越及び近畿等の地域ではトラフィックの需要に応じて段階的に進めてきたため、また、沖縄では衛星地球局との干渉調整の影響による設置の制約が生じたためとしているが、カバー率の拡大について、引き続き努力すべき。
定量 S6	3.7GHz帯 ・ 技術導入状況	3.7GHz帯（5G）について、北海道・東北・信越・北陸・中国・九州において8MIMOの局数が減少している。この要因について教えてください。	【令和5年度】 8MIMOの局数 について、全国では前年度より増加している一方、 一部地域では前年度実績値－30%未満（進捗評価：C評価に該当） となっており、この減少要因について確認する。	—
定量 S7	3.7/28GHz帯 ・ 高度特定基地局数 基盤展開率	5G高度特定基地局数・基盤展開率について、北海道・沖縄において、いずれも周波数帯平均値の70%を下回っている。この要因及び今後の展開方針について教えてください。 ※今後の展開方針については、令和4年度評価結果における検討課題に係る質問項目に同じ。 また、全国及び各総通局（北海道・沖縄を除く。）の5G高度特定基地局数・基盤展開率の拡大に向けてどのような取組をされたのか教えてください。	【昨年度から改善】 カバー率の拡大については、令和4年度評価結果において引き続き努力すべきと指摘した事項である。 北海道・沖縄において、 5G高度特定基地局数・基盤展開率が、いずれも周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当） となっている要因及び今後の展開方針について継続的に確認する。また、改善がみられる地域における取組状況について確認する。	5G高度特定基地局数及び5G基盤展開率の実績値は計画値を上回っているものの、他社に比べて低い。5Gの早期普及のためにも、カバー率の拡大について、引き続き努力すべきである。

※御回答にあたっては、文章にて御回答いただくとともに、可能な範囲で、パワーポイントにて、概要が分かる図等をお示しください。

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考） R 4 評価概要
定量 S1	700MHz帯 ・ 面積カバー率	700MHz帯（4G + 5G）について、北海道の面積カバー率が、周波数帯平均値の70%を下回っている。 この要因を教えてください。	【昨年度から改善】 北海道の面積カバー率が、周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当）となっている要因について継続的に確認する。なお、昨年度は、中国においても周波数帯平均値の70%未満であったところ。	－

○令和5年度 評価（暫定）

R 5 実績評価（暫定）【4 G + 5 G】

	評価	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		通信量	技術 導入状況	総合的な 評価
		計画値差	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値		
全国	B	+5,855	20,415	S	95.40%	B	87.0%	29.65%	B	S
北海道	B	+302	987	A	92.25%	C	65.0%	12.93%	B	A
東北	B	+445	1,534	B	89.64%	B	84.1%	26.83%	B	B
関東	B	+2,148	6,686	S	98.77%	A	106.1%	57.29%	B	S
信越	B	+186	697	A	91.90%	B	88.2%	27.97%	B	A
北陸	B	+199	526	A	94.16%	A	96.4%	33.65%	B	A
東海	B	+732	2,485	S	96.64%	A	100.2%	39.58%	B	S
近畿	B	+897	3,168	S	96.96%	A	98.6%	39.43%	B	S
中国	B	+357	1,397	B	88.16%	B	72.4%	26.80%	B	B
四国	B	+169	728	A	90.35%	B	83.9%	26.78%	B	A
九州	B	+296	1,918	A	91.48%	B	82.1%	34.83%	B	A
沖縄	B	+124	289	S	98.90%	A	106.7%	65.54%	B	S

R 5 進捗評価（暫定）【4 G + 5 G】

	評価	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		総合的な 評価	通信量	技術 導入状況
		前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値	
全国	A	+1,978	20,415	S	+1.65	95.40%	S	+2.46	29.65%	S
北海道	A	+120	987	A	+0.26	92.25%	A	+0.30	12.93%	B
東北	S	+272	1,534	S	+3.21	89.64%	S	+2.83	26.83%	B
関東	A	+390	6,686	A	+0.54	98.77%	S	+3.24	57.29%	B
信越	A	+49	697	S	+1.68	91.90%	S	+1.47	27.97%	B
北陸	A	+54	526	S	+2.06	94.16%	S	+2.96	33.65%	B
東海	A	+353	2,485	S	+2.68	96.64%	S	+4.86	39.58%	B
近畿	A	+306	3,168	A	+0.72	96.96%	S	+2.89	39.43%	B
中国	S	+209	1,397	S	+2.75	88.16%	S	+2.87	26.80%	B
四国	S	+110	728	S	+4.55	90.35%	S	+2.67	26.78%	B
九州	A	+90	1,918	S	+2.91	91.48%	S	+3.18	34.83%	B
沖縄	A	+25	289	S	+1.82	98.90%	S	+15.93	65.54%	B

○（参考）令和4年度評価結果

R 4 実績評価【4 G + 5 G】（認定計画の有効期間が満了している周波数帯としての評価）

	評価	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		通信量	技術導 入状況	総合的 な評価
		計画値比	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値		
全国	B	+4,007	18,437	A	93.75%	B	81.9%	27.19%	B	A
北海道	B	+204	867	A	91.99%	C	63.8%	12.63%	B	A
東北	B	+180	1,262	B	86.43%	B	77.2%	24.00%	B	B
関東	B	+1,773	6,296	S	98.23%	A	102.6%	54.05%	B	S
信越	B	+144	648	A	90.22%	B	85.5%	26.50%	B	A
北陸	B	+146	472	A	92.10%	A	90.3%	30.69%	B	A
東海	B	+399	2,132	A	93.96%	A	92.3%	34.72%	B	A
近畿	B	+606	2,862	S	96.24%	A	95.2%	36.54%	B	S
中国	B	+165	1,188	B	85.41%	C	66.7%	23.93%	B	B
四国	B	+66	618	B	85.80%	B	77.0%	24.11%	B	B
九州	B	+223	1,828	B	88.57%	B	77.4%	31.65%	B	B
沖縄	B	+101	264	S	97.08%	B	88.3%	49.61%	B	S

R 4 進捗評価【4 G + 5 G】（認定計画の有効期間が満了している周波数帯としての評価）

	基地局数（※1）			人口カバー率		面積カバー率		総合的 な評価 （※2）	通信量 （※3）	技術 導入 率
	評価	前年度比	実績値	評価	前年度比	実績値	評価	前年度比	実績値	
全国	A	+2,998	18,437	S	+2.30	93.75%	S	+4.4	27.19%	S
北海道	-	-	867	S	+1.96	91.99%	S	+2.4	12.63%	S
東北	-	-	1,262	S	+7.10	86.43%	S	+6.1	24.00%	S
関東	-	-	6,296	S	+1.50	98.23%	S	+7.2	54.05%	S
信越	-	-	648	S	+1.17	90.22%	S	+2.7	26.50%	S
北陸	-	-	472	A	+0.95	92.10%	S	+4.1	30.69%	S
東海	-	-	2,132	S	+1.58	93.96%	S	+3.9	34.72%	S
近畿	-	-	2,862	A	+0.57	96.24%	S	+3.3	36.54%	S
中国	-	-	1,188	S	+7.53	85.41%	S	+6.3	23.93%	S
四国	-	-	618	A	+0.54	85.80%	S	+2.0	24.11%	S
九州	-	-	1,828	S	+3.58	88.57%	S	+4.9	31.65%	S
沖縄	-	-	264	S	+2.45	97.08%	S	+10.7	49.61%	S

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考） R 4 評価概要
定量 S2	2GHz帯 ・ 面積カバー率	2GHz帯（4G）について、北海道の面積カバー率が、周波数帯平均値の70%を下回っている。 この要因を教えてください。	【昨年度と同様】 北海道の面積カバー率が、周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当）となっている要因について継続的に確認する。	－

○令和5年度 評価（暫定）

R 5 実績評価（暫定）【4 G】

	基地局数			人口カバー率		面積カバー率			通信量	技術 導入状況	総合的な 評価
	評価	計画値差 (※1)	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値			
全国	-	-	38,177	S	95.89%	A	90.6%	26.55%	B	B	S
北海道	-	-	1,507	A	91.38%	C	66.2%	10.06%	B	B	A
東北	-	-	2,243	B	89.85%	A	92.4%	23.01%	B	B	B
関東	-	-	11,451	S	98.87%	A	95.7%	53.61%	B	B	S
信越	-	-	1,301	A	91.57%	B	83.1%	22.85%	B	B	A
北陸	-	-	1,131	S	95.38%	A	99.4%	29.72%	B	B	S
東海	-	-	5,671	S	98.21%	A	95.9%	40.08%	B	B	S
近畿	-	-	7,437	S	98.15%	A	100.9%	38.15%	B	B	S
中国	-	-	2,203	B	87.46%	B	82.1%	21.91%	B	B	B
四国	-	-	1,059	B	89.42%	B	74.2%	21.81%	B	B	B
九州	-	-	3,819	A	93.21%	A	99.5%	33.54%	B	B	A
沖縄	-	-	355	S	97.16%	A	98.8%	53.63%	B	B	S

R 5 進捗評価（暫定）【4 G】

	基地局数			人口カバー率			面積カバー率			総合的な 評価	通信量	技術 導入状況
	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値			
全国	A	+82	38,177	A	+0.46	95.89%	A	+0.02	26.55%	A	B	A
北海道	A	+28	1,507	A	+0.59	91.38%	A	-0.02	10.06%	A	B	A
東北	A	+48	2,243	A	+0.77	89.85%	A	-0.07	23.01%	A	B	A
関東	A	-241	11,451	A	+0.15	98.87%	A	+0.05	53.61%	A	B	A
信越	A	+35	1,301	A	+0.77	91.57%	A	+0.03	22.85%	A	B	A
北陸	A	+15	1,131	A	+0.56	95.38%	A	+0.08	29.72%	A	B	A
東海	A	+35	5,671	A	+0.20	98.21%	A	+0.01	40.08%	A	B	A
近畿	A	+38	7,437	A	+0.21	98.15%	A	±0.00	38.15%	A	B	A
中国	A	+45	2,203	S	+1.15	87.46%	A	+0.22	21.91%	S	B	A
四国	A	+9	1,059	S	+1.06	89.42%	A	+0.16	21.81%	S	B	A
九州	A	+63	3,819	A	+0.69	93.21%	A	-0.05	33.54%	A	B	A
沖縄	A	+7	355	A	+0.20	97.16%	A	+0.97	53.63%	A	B	A

○（参考）令和4年度評価結果

R 4 実績評価【4 G】

	基地局数(※1)		人口カバー率		面積カバー率			通信量	技術導 入状況	総合的 な評価
	計画値比	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値			
全国	-	38,095	S	95.43%	B	89.9%	26.53%	B	B	S
北海道	-	1,479	A	90.79%	C	66.8%	10.08%	B	B	A
東北	-	2,195	B	89.08%	A	92.3%	23.08%	B	B	B
関東	-	11,692	S	98.72%	A	96.2%	53.56%	B	B	S
信越	-	1,266	A	90.80%	B	83.6%	22.82%	B	B	A
北陸	-	1,116	A	94.82%	A	99.5%	29.64%	B	B	A
東海	-	5,636	S	98.01%	A	95.9%	40.07%	B	B	S
近畿	-	7,399	S	97.94%	A	101.9%	38.15%	B	B	S
中国	-	2,158	B	86.31%	B	81.5%	21.69%	B	B	B
四国	-	1,050	B	88.36%	B	73.6%	21.65%	B	B	B
九州	-	3,756	A	92.52%	A	100.3%	33.59%	B	B	A
沖縄	-	348	S	96.96%	A	97.5%	52.66%	B	B	S

R 4 進捗評価【4 G】

	基地局数(※1)			人口カバー率			面積カバー率			総合的 な評価 (※2)	通信量 (※3)	技術導 入率
	評価	前年度比	実績値	評価	前年度比	実績値	評価	前年度比	実績値			
全国	A	-41	38,095	A	-0.09	95.43%	A	-0.16	26.53%	A	B	A
北海道	-	-	1,479	A	+0.02	90.79%	A	-0.12	10.08%	-	-	A
東北	-	-	2,195	A	-0.57	89.08%	A	-0.65	23.08%	-	-	A
関東	-	-	11,692	A	±0	98.72%	A	+0.03	53.56%	-	-	A
信越	-	-	1,266	A	-0.45	90.80%	A	-0.23	22.82%	-	-	A
北陸	-	-	1,116	A	-0.06	94.82%	A	+0.05	29.64%	-	-	A
東海	-	-	5,636	A	+0.01	98.01%	A	+0.03	40.07%	-	-	A
近畿	-	-	7,399	A	+0.02	97.94%	A	+0.22	38.15%	-	-	A
中国	-	-	2,158	A	-0.09	86.31%	A	+0.09	21.69%	-	-	A
四国	-	-	1,050	A	+0.14	88.36%	A	+0.09	21.65%	-	-	A
九州	-	-	3,756	A	-0.39	92.52%	A	-0.28	33.59%	-	-	A
沖縄	-	-	348	A	+0.01	96.96%	A	+0.56	52.66%	-	-	A

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和4年度評価
定量 S3	3.5GHz帯 ・ 基地局数 人口カバー率 面積カバー率	3.5GHz帯（4G）について、全国及び全ての総通局の人口カバー率が50%以上70%未満、全国及び各総通局（東海・沖縄を除く。）の面積カバー率が周波数帯平均値の70%を下回っている。また、前年度と比較し、基地局数は全国・北海道・信越・北陸・中国・九州・沖縄において減少、人口カバー率は九州において減少、面積カバー率は全国・信越・九州において減少している。これらの要因及び今後の展開方針を教えてください。	【昨年度と同様】 人口カバー率の拡大については、令和4年度評価結果において引き続き努力すべきとした事項である。 人口カバー率は全国及び全ての総通局において50%以上70%未満（実績評価：C評価に該当）、面積カバー率は東海・沖縄を除き周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当）となっている。 また、 基地局数、人口カバー率及び面積カバー率について、前年度比較で減少が見られる ところ。これら要因を確認するとともに、今後の展開方針について確認する。	同社によれば、都心部等のトラフィック対策のために活用し、今後エリアも広げる計画を有するとしているが、電波の有効利用の観点からは、人口カバー率の拡大について引き続き努力するべきである。

○令和5年度 評価（暫定）

R 5 実績評価（暫定）【4G】

	評価	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		通信量	技術導入状況	総合的な評価
		計画値差	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値		
全国	B	+6,016	29,047	C	63.14%	C	59.0%	5.90%	B	C
北海道	B	+259	1,078	C	63.38%	C	56.8%	1.08%	B	C
東北	B	+566	2,158	C	64.15%	C	47.8%	5.59%	B	C
関東	B	+1,015	9,811	C	61.55%	C	53.0%	8.22%	B	C
信越	B	+438	1,207	C	64.23%	C	59.9%	7.67%	B	C
北陸	B	+326	869	C	67.27%	C	59.5%	9.94%	B	C
東海	B	+1,119	3,458	C	66.14%	B	71.8%	10.98%	B	C
近畿	B	+1,532	5,404	C	66.81%	C	69.4%	8.67%	B	C
中国	B	+261	1,498	C	60.13%	C	57.5%	6.50%	B	C
四国	B	+39	693	C	60.50%	C	64.4%	6.50%	B	C
九州	B	+380	2,586	C	59.86%	C	61.8%	6.30%	B	C
沖縄	B	+81	285	C	60.93%	B	73.9%	11.67%	B	C

R 5 進捗評価（暫定）【4G】

	評価	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		総合的な評価	通信量	技術導入状況
		前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値	
全国	A	-229	29,047	S	+1.07	63.14%	A	-0.02	5.90%	S
北海道	A	-5	1,078	S	+2.03	63.38%	A	+0.02	1.08%	S
東北	A	+22	2,158	S	+1.97	64.15%	A	+0.13	5.59%	S
関東	A	+110	9,811	S	+1.22	61.55%	A	±0.00	8.22%	S
信越	A	-21	1,207	A	+0.67	64.23%	A	-0.29	7.67%	S
北陸	A	-8	869	S	+1.70	67.27%	A	+0.16	9.94%	S
東海	A	+34	3,458	S	+1.87	66.14%	A	+0.26	10.98%	S
近畿	A	+2	5,404	A	+0.86	66.81%	A	+0.07	8.67%	A
中国	A	-6	1,498	S	+2.49	60.13%	A	+0.18	6.50%	S
四国	A	+3	693	S	+1.65	60.50%	A	+0.09	6.50%	S
九州	B	-355	2,586	B	-1.92	59.86%	A	-0.67	6.30%	B
沖縄	A	-5	285	A	+0.09	60.93%	A	+0.02	11.67%	A

○（参考）令和4年度評価結果

R 4 実績評価【4G】

	評価	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		通信量	技術導入状況	総合的な評価
		計画値比	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値		
全国	B	+6,245	29,276	C	62.07%	C	59.8%	5.92%	B	C
北海道	B	+264	1,083	C	61.35%	C	58.9%	1.06%	B	C
東北	B	+544	2,136	C	62.18%	C	47.1%	5.46%	B	C
関東	B	+905	9,701	C	60.33%	C	54.8%	8.22%	B	C
信越	B	+459	1,228	C	63.56%	C	61.7%	7.96%	B	C
北陸	B	+334	877	C	65.57%	C	58.6%	9.78%	B	C
東海	B	+1,085	3,424	C	64.27%	B	71.0%	10.72%	B	C
近畿	B	+1,530	5,402	C	65.95%	B	71.7%	8.60%	B	C
中国	B	+267	1,504	C	57.64%	C	56.4%	6.32%	B	C
四国	B	+36	690	C	58.85%	C	64.1%	6.41%	B	C
九州	B	+735	2,941	C	61.78%	C	67.0%	6.97%	B	C
沖縄	B	+86	290	C	60.84%	B	79.8%	11.65%	B	C

R 4 進捗評価【4G】

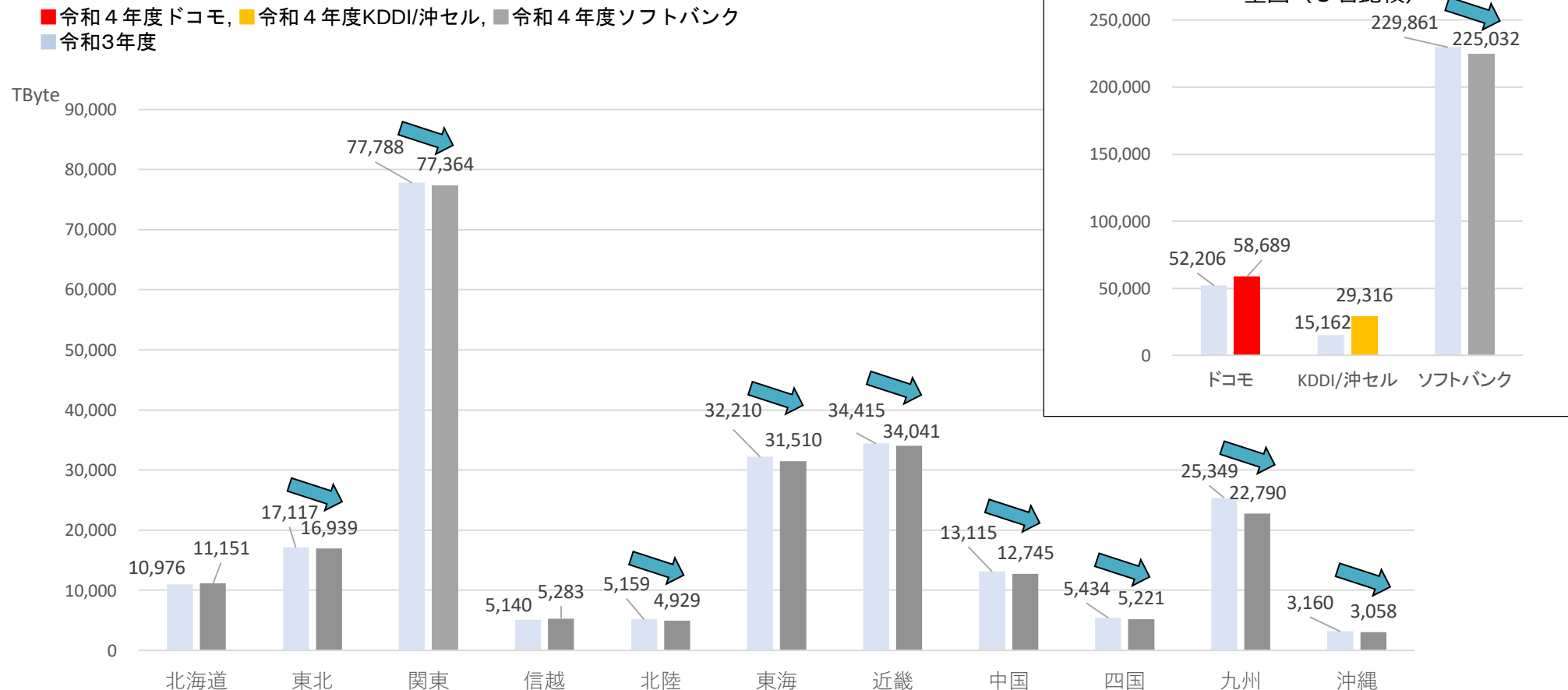
	評価	基地局数（※1）		人口カバー率		面積カバー率		総合的な評価（※2）	通信量（※3）	技術導入率
		前年度比	実績値	評価	前年度比	実績値	評価	前年度比	実績値	
全国	A	-355	29,276	A	+0.05	62.07%	A	+0.01	5.92%	S
北海道	-	-	1,083	A	-0.56	61.35%	A	-0.01	1.06%	A
東北	-	-	2,136	A	-0.62	62.18%	A	-0.09	5.46%	A
関東	-	-	9,701	A	+0.31	60.33%	A	+0.19	8.22%	S
信越	-	-	1,228	B	-1.32	63.56%	A	-0.11	7.96%	A
北陸	-	-	877	B	-1.14	65.57%	A	-0.42	9.78%	A
東海	-	-	3,424	A	-0.12	64.27%	A	-0.09	10.72%	A
近畿	-	-	5,402	S	+1.84	65.95%	A	+0.65	8.60%	S
中国	-	-	1,504	A	-0.75	57.64%	A	-0.02	6.32%	A
四国	-	-	690	B	-4.6	58.85%	A	-0.55	6.41%	B
九州	-	-	2,941	A	-0.12	61.78%	A	+0.10	6.97%	A
沖縄	-	-	290	A	-0.08	60.84%	A	+0.48	11.65%	A

ソフトバンク 詳細④ 3.5GHz帯(その2)

30

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和4年度評価
定量 S4	3.5GHz帯 ・ 通信量	3.5GHz帯（4G）について、全国及び各総通局（北海道・信越を除く。）における通信量（月間総トラフィック）が前年度より減少している。 この要因及び今後の増減見込みを教えてください。	【昨年度と同様】 全国及び各総通局（北海道・信越を除く。）の通信量が、前年度実績値未満（進捗評価：C評価に該当） となっており、この要因及び今後の増減見込みについて継続的に確認する。	通信量がコロナ禍の影響等により一時的に下回っているということであるが、他の携帯電話事業者は同条件下で通信量は増加しており、通信量の拡大に備えて引き続き努力すべきである。

○令和5年度調査結果 3.5GHz帯 ソフトバンク 通信量（月間総トラフィック）



ソフトバンク 詳細⑤ 3.7GHz帯(その1)

31

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和4年度評価
定量 S5	3.7GHz帯 ・ 基地局数 人口カバー率 面積カバー率	3.7GHz帯（5G）について、沖縄において、基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%を下回っている。この要因と今後の展開方針について教えてください。	【昨年度と同様】 カバー率の拡大については、令和4年度評価結果において引き続き努力すべきとした事項である。 沖縄において、基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当） となった要因、特に人口カバー率は前年度から+2.24%に留まっているところ、その要因と今後の展開方針について継続的に確認する。	同社は、信越及び近畿等の地域ではトラフィックの需要に応じて段階的に進めてきたため、また、沖縄では衛星地球局との干渉調整の影響による設置の制約が生じたためとしているが、カバー率の拡大について、引き続き努力するべき。

○令和5年度 評価（暫定）

R5 実績評価（暫定）【5G】

	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		評価	技術導入率	総合的な評価
	平均比	実績値	平均比	実績値	平均比	実績値			
全国	60.0%	6,123	120.8%	31.77%	151.7%	7.28%	A	S	S
北海道	78.1%	571	155.9%	62.50%	199.0%	5.77%	A	S	S
東北	85.7%	789	160.3%	53.06%	181.6%	7.99%	A	S	S
関東	28.7%	823	93.4%	12.23%	147.9%	4.88%	A	S	S
信越	53.0%	244	116.0%	44.32%	115.9%	8.00%	A	S	S
北陸	108.7%	351	145.6%	64.78%	157.8%	12.78%	S	S	S
東海	55.7%	573	158.2%	22.78%	177.1%	6.20%	A	S	S
近畿	59.5%	772	103.7%	36.80%	133.2%	9.59%	A	S	S
中国	93.8%	760	130.0%	54.73%	131.0%	7.73%	S	S	S
四国	73.3%	327	130.3%	55.76%	131.9%	7.78%	A	S	S
九州	72.6%	900	114.4%	46.90%	126.7%	8.49%	A	S	S
沖縄	15.9%	13	20.9%	2.26%	10.0%	0.37%	C	S	C

R5 進捗評価（暫定）【5G】

	基地局数（屋外）			基地局数（屋内）			総合的な評価	技術導入状況
	評価	計画値差	実績値	評価	計画値差	実績値		
全国	A	+2,596	6,123	A	+185	335	A	S
北海道	S	+353	571	A	+5	12	S	B
東北	S	+414	789	A	+7	9	S	C
関東	A	+518	823	A	+100	157	A	S
信越	A	+79	244	A	+7	10	A	C
北陸	S	+183	351	A	+2	8	S	B
東海	A	+132	573	A	+12	30	A	S
近畿	A	+327	772	A	+29	58	A	S
中国	S	+315	760	A	+5	14	S	C
四国	S	+107	327	A	+1	3	S	S
九州	A	+165	900	A	+15	32	A	S
沖縄	A	+3	13	A	+2	2	A	S

○（参考）令和4年度評価結果

R4 実績評価【5G】

	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		評価	技術導入率	総合的な評価
	平均比	実績値	平均比	実績値	平均比	実績値			
全国	53.4%	2,415	127.3%	14.26%	111.7%	2.57%	A	S	S
北海道	68.8%	185	180.0%	27.00%	175.6%	1.58%	A	S	S
東北	70.6%	207	156.2%	22.03%	142.6%	2.71%	A	S	S
関東	29.4%	425	140.6%	4.92%	130.0%	1.43%	A	S	S
信越	39.1%	70	90.2%	17.76%	65.3%	2.22%	B	S	B
北陸	123.5%	200	162.4%	49.85%	152.1%	8.52%	S	S	S
東海	44.6%	213	174.7%	8.91%	147.3%	2.21%	A	S	S
近畿	54.8%	346	93.9%	12.63%	72.4%	2.46%	B	S	B
中国	80.6%	254	135.6%	31.72%	108.3%	3.90%	A	S	S
四国	64.9%	131	127.0%	32.39%	99.4%	3.58%	A	S	S
九州	74.0%	379	108.8%	20.67%	89.1%	2.94%	B	S	B
沖縄	13.5%	5	0.7%	0.02%	1.1%	0.02%	C	S	C

R4 進捗評価【5G】

	基地局数（屋外）			基地局数（屋内）			総合的な評価（※）	技術導入状況
	評価	計画値比	実績値	評価	計画値比	実績値		
全国	A	+1,013	2,415	A	+127	127	A	S
北海道	-	-	185	-	-	-	-	B
東北	-	-	207	-	-	-	-	B
関東	-	-	425	-	-	-	-	S
信越	-	-	70	-	-	-	-	S
北陸	-	-	200	-	-	-	-	S
東海	-	-	213	-	-	-	-	S
近畿	-	-	346	-	-	-	-	S
中国	-	-	254	-	-	-	-	S
四国	-	-	131	-	-	-	-	S
九州	-	-	379	-	-	-	-	S
沖縄	-	-	5	-	-	-	-	S

ソフトバンク 詳細⑥ 3.7GHz帯(その2)

32

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和4年度評価
定量 S6	3.7GHz帯 ・ 技術導入状況	3.7GHz帯（5G）について、北海道・東北・信越・北陸・中国・九州において8MIMOの局数が減少している。 この要因について教えてください。	【令和5年度】8MIMOの局数について、全国では前年度より増加している一方、一部地域では前年度実績値－30%未満（進捗評価：C評価に該当）となっており、この減少要因について確認する。	－

○令和5年度調査結果 3.7GHz帯 技術導入状況

■ +10%超え ■ ±10%以内 ■ -10%未満、-30%以上 ■ -30%未満

		ドコモ(5G)							KDDI/沖縄セル(5G)							ソフトバンク(5G)							楽天モバイル(5G)						
		CA	2MIMO	4MIMO	8MIMO	MMIMO	256QAM	UL64QAM	CA	2MIMO	4MIMO	8MIMO	MMIMO	256QAM	UL64QAM	CA	2MIMO	4MIMO	8MIMO	MMIMO	256QAM	UL64QAM	CA	2MIMO	4MIMO	8MIMO	MMIMO	256QAM	UL64QAM
全国	R5	10,356	9,705	9,705	0	651	10,356	10,356	8,863	12,506	12,206	0	1,234	14,944	14,944	6,458	5,777	5,675	380	679	6,458	6,458	11,053	250	1	0	10,803	11,053	11,053
	R4	7,895	7,407	7,407	0	488	6,920	7,895	2,529	4,257	3,957	0	735	5,226	5,226	2,542	1,933	1,933	325	609	2,542	2,542	5,753	5	0	0	5,748	5,753	5,753
	比率	31%	31%	31%	-	33%	50%	31%	250%	194%	208%	-	68%	186%	186%	154%	199%	194%	17%	11%	154%	154%	92%	4900%	-	-	88%	92%	92%
北海道	R5	745	682	682	0	63	745	745	542	824	824	0	4	907	907	583	561	556	3	22	583	583	623	7	0	0	616	623	623
	R4	528	469	469	0	59	526	528	56	196	196	0	3	199	199	188	168	168	4	20	188	188	298	0	0	0	298	298	298
	比率	41%	45%	45%	-	7%	42%	41%	868%	320%	320%	-	33%	356%	356%	210%	234%	231%	-25%	10%	210%	210%	109%	-	-	-	107%	109%	109%
東北	R5	705	645	645	0	60	705	705	720	1,066	1,066	0	24	1,302	1,302	798	780	780	6	18	798	798	638	11	0	0	627	638	638
	R4	496	450	450	0	46	238	496	79	223	223	0	18	241	241	212	198	198	9	14	212	212	364	0	0	0	364	364	364
	比率	42%	43%	43%	-	30%	196%	42%	811%	378%	378%	-	33%	440%	440%	276%	294%	294%	-33%	29%	276%	276%	75%	-	-	-	72%	75%	75%
関東	R5	2,712	2,662	2,662	0	50	2,712	2,712	3,787	4,577	4,277	0	321	5,011	5,011	980	827	779	249	153	980	980	4,712	151	1	0	4,561	4,712	4,712
	R4	2,295	2,257	2,257	0	38	2,295	2,295	1,080	2,094	1,794	0	220	2,314	2,314	501	357	357	197	144	501	501	2,293	2	0	0	2,291	2,293	2,293
	比率	18%	18%	18%	-	32%	18%	18%	251%	119%	138%	-	46%	117%	117%	96%	132%	118%	26%	6%	96%	96%	105%	7450%	-	-	99%	105%	105%
信越	R5	600	593	593	0	7	600	600	238	538	538	0	6	637	637	254	240	235	1	14	254	254	267	2	0	0	265	267	267
	R4	440	436	436	0	4	440	440	86	151	151	0	6	157	157	72	61	61	2	11	72	72	131	2	0	0	129	131	131
	比率	36%	36%	36%	-	75%	36%	36%	177%	256%	256%	-	0%	306%	306%	253%	293%	285%	-50%	27%	253%	253%	104%	0%	-	-	105%	104%	104%
北陸	R5	403	207	207	0	196	403	403	262	355	355	0	6	383	383	359	341	334	8	18	359	359	177	3	0	0	174	177	177
	R4	311	154	154	0	157	310	311	22	85	85	0	6	91	91	200	183	183	9	17	200	200	107	0	0	0	107	107	107
	比率	30%	34%	34%	-	25%	30%	30%	1091%	318%	318%	-	0%	321%	321%	80%	86%	83%	-11%	6%	80%	80%	65%	-	-	-	63%	65%	65%
東海	R5	705	667	667	0	38	705	705	928	1,285	1,285	0	208	1,851	1,851	603	543	533	44	60	603	603	1,154	1	0	0	1,153	1,154	1,154
	R4	570	566	566	0	4	554	570	325	404	404	0	97	735	735	229	171	171	38	58	229	229	671	0	0	0	671	671	671
	比率	24%	18%	18%	-	850%	27%	24%	186%	218%	218%	-	114%	152%	152%	163%	218%	212%	16%	3%	163%	163%	72%	-	-	-	72%	72%	72%
近畿	R5	1,153	1,119	1,119	0	34	1,153	1,153	1,251	1,248	1,248	0	504	1,838	1,838	830	557	530	52	273	830	830	1,740	58	0	0	1,682	1,740	1,740
	R4	848	818	818	0	30	712	848	412	519	519	0	228	747	747	359	129	129	43	230	359	359	913	0	0	0	913	913	913
	比率	36%	37%	37%	-	13%	62%	36%	204%	140%	140%	-	121%	146%	146%	131%	332%	311%	21%	19%	131%	131%	91%	-	-	-	84%	91%	91%
中国	R5	915	882	882	0	33	915	915	339	912	912	0	17	1,007	1,007	774	759	759	4	15	774	774	409	4	0	0	405	409	409
	R4	709	678	678	0	31	709	709	104	191	191	0	16	207	207	259	243	243	9	16	259	259	239	0	0	0	239	239	239
	比率	29%	30%	30%	-	6%	29%	29%	226%	377%	377%	-	6%	386%	386%	199%	212%	212%	-56%	-6%	199%	199%	71%	-	-	-	69%	71%	71%
四国	R5	730	642	642	0	88	730	730	129	384	384	0	32	450	450	330	315	315	3	15	330	330	273	2	0	0	271	273	273
	R4	562	486	486	0	76	268	562	54	63	63	0	32	95	95	131	115	115	3	16	131	131	137	0	0	0	137	137	137
	比率	30%	32%	32%	-	16%	172%	30%	139%	510%	510%	-	0%	374%	374%	152%	174%	174%	0%	-6%	152%	152%	99%	-	-	-	98%	99%	99%
九州	R5	1,629	1,547	1,547	0	82	1,629	1,629	511	1,161	1,161	0	112	1,402	1,402	932	839	839	9	91	932	932	904	7	0	0	897	904	904
	R4	1,093	1,050	1,050	0	43	826	1,093	260	280	280	0	109	389	389	385	302	302	10	83	385	385	508	0	0	0	508	508	508
	比率	49%	47%	47%	-	91%	97%	49%	97%	315%	315%	-	3%	260%	260%	142%	178%	178%	-10%	10%	142%	142%	78%	-	-	-	77%	78%	78%
沖縄	R5	59	59	59	0	0	59	59	156	156	156	0	0	156	156	15	15	15	1	0	15	15	156	4	0	0	152	156	156
	R4	43	43	43	0	0	42	43	51	51	51	0	0	51	51	6	6	6	1	0	6	6	92	1	0	0	91	92	92
	比率	37%	37%	37%	-	-	40%	37%	206%	206%	206%	-	-	206%	206%	150%	150%	150%	0%	-	150%	150%	70%	300%	-	-	67%	70%	70%

(注)2MIMO, 4MIMO, 8MIMOの基地局数はMMIMOの基地局数を含まない

ソフトバンク 詳細⑦ 5G高度特定基地局数・基盤展開率

33

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和4年度評価
定量 S7	3.7/28GHz帯 ・ 高度特定基地局数 基盤展開率	5G高度特定基地局数・基盤展開率について、北海道・沖縄において、いずれも周波数帯平均値の70%を下回っている。この要因及び今後の展開方針について教えてください。 ※今後の展開方針については、令和4年度評価結果における検討課題に係る質問項目に同じ。 また、全国及び各総通局（北海道・沖縄を除く。）の5G高度特定基地局数・基盤展開率の拡大に向けてどのような取組をされたのか教えてください。	【昨年度から改善】 カバー率の拡大については、令和4年度評価結果において引き続き努力すべきと指摘した事項である。 北海道・沖縄において、5G高度特定基地局数・基盤展開率が、いずれも周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当）となっている要因及び今後の展開方針について継続的に確認する。また、改善がみられる地域における取組状況について確認する。	5G高度特定基地局数及び5G基盤展開率の実績値は計画値を上回っているものの、他社に比べて低い。5Gの早期普及のためにも、カバー率の拡大について、引き続き努力すべきである。

○令和5年度 評価（暫定）

R 5 実績評価（暫定）

	5G高度特定基地局数		5G基盤展開率		評価
	平均比	実績値	平均比	実績値	
全国	53.4%	1,859	80.6%	27.31%	B
北海道	56.9%	182	61.9%	16.58%	C
東北	83.1%	295	92.3%	32.12%	B
関東	30.4%	322	88.4%	33.33%	B
信越	75.0%	102	87.2%	28.78%	B
北陸	67.8%	61	73.3%	29.68%	B
東海	45.3%	154	86.2%	33.02%	B
近畿	64.1%	294	82.5%	32.01%	B
中国	76.2%	163	92.4%	35.84%	B
四国	61.5%	75	72.0%	23.41%	B
九州	59.2%	202	78.8%	25.94%	B
沖縄	18.0%	9	27.8%	7.61%	C

R 5 進捗評価（暫定）

	5G高度特定基地局数			5G基盤展開率			総合的な評価
	評価	計画値差	実績値	評価	計画値差	実績値	
全国	A	+860	1,859	S	+4.93	27.31%	S
北海道	A	+49	182	S	+1.98	16.58%	S
東北	A	+105	295	S	+6.58	32.12%	S
関東	S	+215	322	S	+7.30	33.33%	S
信越	A	+31	102	S	+3.24	28.78%	S
北陸	A	+28	61	S	+8.39	29.68%	S
東海	A	+71	154	S	+7.40	33.02%	S
近畿	S	+222	294	S	+8.58	32.01%	S
中国	A	+48	163	S	+5.71	35.84%	S
四国	A	+27	75	S	+4.36	23.41%	S
九州	A	+61	202	S	+2.79	25.94%	S
沖縄	A	+3	9	S	+1.09	7.61%	S

○（参考）令和4年度評価結果

R 4 実績評価

	5G高度特定基地局数		5G基盤展開率		評価
	平均比	実績値	平均比	実績値	
全国	31.5%	559	50.6%	8.85%	C
北海道	24.7%	37	30.0%	3.84%	C
東北	44.4%	76	61.1%	10.08%	C
関東	14.8%	75	54.2%	11.44%	C
信越	39.0%	23	55.5%	8.27%	C
北陸	48.2%	27	52.9%	12.90%	C
東海	29.3%	55	55.9%	12.35%	C
近畿	43.2%	112	40.7%	9.57%	C
中国	43.4%	49	58.7%	11.69%	C
四国	45.2%	28	47.5%	7.94%	C
九州	40.2%	74	58.0%	9.69%	C
沖縄	11.1%	3	17.8%	2.17%	C

R 4 進捗評価

	5G高度特定基地局数			5G基盤展開率			総合的な評価 (※)
	評価	計画値比	実績値	評価	計画値比	実績値	
全国	A	+259	559	S	+2.13	8.85%	S
北海道	-	-	37	A	+0.99	3.84%	-
東北	-	-	76	S	+1.48	10.08%	-
関東	-	-	75	S	+3.17	11.44%	-
信越	-	-	23	S	+1.44	8.27%	-
北陸	-	-	27	S	+5.80	12.90%	-
東海	-	-	55	S	+4.33	12.35%	-
近畿	-	-	112	S	+3.63	9.57%	-
中国	-	-	49	S	+1.82	11.69%	-
四国	-	-	28	S	+1.59	7.94%	-
九州	-	-	74	S	+1.97	9.69%	-
沖縄	-	-	3	S	+1.08	2.17%	-

■ 楽天モバイル：計 1 問

- * …【令和 5 年度】：本年度の新たな質問項目
- …【昨年度と同様】：昨年度と同様な質問項目
- …【昨年度から改善】：昨年度、同様な質問項目であるが、一部で改善が見られるもの

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由*（送付時には「回答欄」とする）	（参考）R 4 評価概要
定量 R1	3.7GHz帯 ・ 基地局数 人口カバー率 面積カバー率	3.7GHz帯（5G）について、信越・北陸・中国・四国において、基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%を下回っている。 この要因及び今後の展開方針を教えてください。	<u>【昨年度と同様】</u> カバー率の拡大については、令和 4 年度評価結果において引き続き努力すべきとした事項である。 信越・北陸・中国・四国において、基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C 評価に該当）となった要因及び今後の展開方針について継続的に確認する。	信越、北陸等一部の地域では他社に比べて低い。高トラヒック地域から段階的に基地局を開設したためであり、引き続き 5 G のエリアカバレッジの拡大に取り組むとしているが、カバー率の拡大について、引き続き努力するべき。

※御回答にあたっては、文章にて御回答いただくとともに、可能な範囲で、パワーポイントにて、概要が分かる図等をお示しください。

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時削除）	（参考）令和４年度評価
定量 R1	3.7GHz帯 ・ 基地局数 人口カバー率 面積カバー率	3.7GHz帯（5G）について、信越・北陸・中国・四国において、基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%を下回っている。 この要因及び今後の展開方針を教えてください。	【昨年度と同様】 カバー率の拡大については、令和４年度評価結果において引き続き努力すべきとした事項である。 信越・北陸・中国・四国 において、 基地局数・人口カバー率・面積カバー率の複数が周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当） となった要因及び今後の展開方針について継続的に確認する。	信越、北陸等一部の地域では他社に比べて低い。高トラヒック地域から段階的に基地局を開設したためであり、引き続き5Gのエリアカバレッジの拡大に取り組むとしているが、カバー率の拡大について、引き続き努力するべき。

○令和５年度 評価（暫定）

R 5実績評価（暫定）【5G】

	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		評価	技術導入率	総合的な評価
	平均比	実績値	平均比	実績値	平均比	実績値			
全国	95.7%	9,761	116.0%	30.50%	96.0%	4.61%	A	S	S
北海道	80.3%	587	91.7%	36.78%	126.9%	3.68%	A	S	S
東北	63.7%	587	72.4%	23.96%	96.4%	4.24%	B	S	B
関東	141.9%	4,064	209.8%	27.48%	147.9%	4.88%	S	S	S
信越	53.9%	248	68.2%	26.06%	76.4%	5.27%	C	S	C
北陸	48.6%	157	50.9%	22.67%	72.5%	5.87%	C	S	C
東海	101.8%	1,046	126.8%	18.26%	117.4%	4.11%	S	S	S
近畿	113.8%	1,477	158.7%	56.33%	138.5%	9.97%	S	S	S
中国	45.2%	366	46.7%	19.68%	42.7%	2.52%	C	S	C
四国	55.8%	249	47.8%	20.45%	52.7%	3.11%	C	S	C
九州	67.7%	839	73.2%	30.02%	79.1%	5.30%	B	S	B
沖縄	172.0%	141	116.3%	12.56%	188.1%	6.96%	S	S	S

R 5進捗評価（暫定）【5G】

	基地局数（屋外）			基地局数（屋内）			総合的な評価	技術導入状況
	評価	計画値差	実績値	評価	計画値差	実績値		
全国	A	+870	9,761	A	+371	1,292	A	S
北海道	A	+119	587	A	+8	36	A	S
東北	A	+99	587	A	+15	51	A	S
関東	A	+169	4,064	A	+102	648	A	S
信越	A	+49	248	A	+7	19	A	S
北陸	A	+23	157	A	+13	20	A	S
東海	A	+98	1,046	A	+36	108	A	S
近畿	A	+130	1,477	A	+126	263	A	S
中国	A	+45	366	A	+14	43	A	S
四国	A	+38	249	A	+14	24	A	S
九州	A	+83	839	A	+28	65	A	S
沖縄	A	+17	141	A	+8	15	A	S

○（参考）令和４年度評価結果

R 4実績評価【5G】

	基地局数		人口カバー率		面積カバー率		評価	技術導入率	総合的な評価
	平均比	実績値	平均比	実績値	平均比	実績値			
全国	109.4%	4,948	112.6%	12.61%	90.4%	2.08%	A	S	S
北海道	104.5%	281	87.1%	13.06%	123.3%	1.11%	A	S	S
東北	112.3%	329	95.0%	13.39%	112.6%	2.14%	S	S	S
関東	130.9%	1,891	183.4%	6.42%	113.6%	1.25%	S	S	S
信越	64.2%	115	55.5%	10.94%	61.8%	2.10%	C	S	C
北陸	60.5%	98	50.1%	15.37%	64.1%	3.59%	C	S	C
東海	120.7%	577	166.7%	8.50%	142.0%	2.13%	S	S	S
近畿	122.7%	774	210.6%	28.64%	172.9%	5.88%	S	S	S
中国	66.7%	210	44.0%	10.30%	37.5%	1.35%	C	S	C
四国	60.4%	122	41.0%	10.46%	42.2%	1.52%	C	S	C
九州	91.6%	469	76.5%	14.53%	79.4%	2.62%	B	S	B
沖縄	221.6%	82	210.0%	5.88%	201.1%	3.82%	S	S	S

R 4進捗評価【5G】

	基地局数（屋外）			基地局数（屋内）			総合的な評価（※）	技術導入状況
	評価	計画値比	実績値	評価	計画値比	実績値		
全国	A	+867	4,948	A	+192	805	A	S
北海道	-	-	281	-	-	-	-	S
東北	-	-	329	-	-	-	-	S
関東	-	-	1,891	-	-	-	-	S
信越	-	-	115	-	-	-	-	S
北陸	-	-	98	-	-	-	-	S
東海	-	-	577	-	-	-	-	S
近畿	-	-	774	-	-	-	-	S
中国	-	-	210	-	-	-	-	S
四国	-	-	122	-	-	-	-	S
九州	-	-	469	-	-	-	-	S
沖縄	-	-	82	-	-	-	-	S

■ U Qコミュニケーションズ：計 2 問

- * …【令和 5 年度】：本年度の新たな質問項目
 …【昨年度と同様】：昨年度と同様な質問項目
 …【昨年度から改善】：昨年度、同様な質問項目であるが、一部で改善が見られるもの

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由*（送付時には「回答欄」とする）	（参考） R 4 評価概要
定量 U1	2.5GHz帯 ・ 全般	2.5GHz帯について、高度化BWAの展開方針及び高度化BWAから 5 G へのマイグレーションの方針を教えてください。	【令和 5 年度】 本年度より、総務省から 5 G に係る基地局数・人口カバー率・面積カバー率等に係る調査結果報告が行われたところ。今後の評価の在り方の検討にあたり、高度化BWAの展開方針及び高度化BWAから5Gへのマイグレーションの方針についてヒアリングを行うことが適当と考えられるため。	—
定量 U2	2.5GHz帯 ・ 通信量	2.5GHz帯（高度化BWA）について、全国及び各総通局における通信量（月間総トラヒック）が前年度より減少している。 この要因と今後の増減見込みを教えてください。	【昨年度と同様】 全国及び全ての総通局の通信量が、前年度実績値未満（進捗評価：C 評価に該当）となっており、この要因及び今後の増減見込みについて継続的に確認する。	周波数を 4 G から 5 G に順次切り替えるためトラヒック量が昨年度を下回っている。今後更なる通信量の増大が予想される中で一層の有効利用を図る必要があることから、電波の有効利用に向けて引き続き努力するべきである。

※御回答にあたっては、文章にて御回答いただくとともに、可能な範囲で、パワーポイントにて、概要が分かる図等をお示しください。

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和４年度評価
定量 U1	2.5GHz帯 ・ 全般	2.5GHz帯について、高度化BWAの展開方針及び高度化BWAから５Gへのマイグレーションの方針を教えてください。	【令和５年度】本年度より、総務省から５Gに係る基地局数・人口カバー率・面積カバー率等に係る調査結果報告が行われたところ。今後の評価の在り方の検討にあたり、高度化BWAの展開方針及び高度化BWAから５Gへのマイグレーションの方針についてヒアリングを行うことが適当と考えられるため。	－

○令和５年度 評価（暫定）

R 5 実績評価（暫定）【高度化BWA】

	基地局数			人口カバー率		面積カバー率			通信量	技術 導入状況	総合的な 評価
	評価	計画値差	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値			
全国	B	+1,401	40,061	S	97.84%	S	147.8%	38.73%	B	B	S
北海道	B	+29	1,180	S	95.62%	S	159.9%	14.07%	B	B	S
東北	B	+61	2,561	A	94.64%	S	156.4%	33.48%	B	B	A
関東	B	+467	18,173	S	99.63%	S	134.4%	69.09%	B	B	S
信越	B	+26	1,029	S	96.51%	S	156.2%	38.73%	B	B	S
北陸	B	+34	661	S	96.04%	S	136.1%	33.61%	B	B	S
東海	B	+119	3,688	S	98.21%	S	137.6%	47.88%	B	B	S
近畿	B	+280	6,639	S	98.71%	S	135.2%	48.39%	B	B	S
中国	B	+31	2,034	S	95.27%	S	164.0%	56.75%	B	B	S
四国	B	+28	832	A	93.61%	S	149.5%	36.63%	B	B	A
九州	B	+221	2,927	S	96.27%	S	152.8%	50.42%	B	B	S
沖縄	B	+105	337	S	98.45%	S	134.6%	52.51%	B	B	S

R 5 実績評価（暫定）【５G】

	基地局数			人口カバー率		面積カバー率			通信量	技術 導入状況	総合的な 評価
	評価	計画値差	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値			
全国	R	-	567	R	0.52%	R	-	0.02%	R	R	R
北海道	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
東北	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
関東	R	-	356	R	0.77%	R	-	0.09%	R	R	R
信越	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
北陸	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
東海	R	-	58	R	0.66%	R	-	0.05%	R	R	R
近畿	R	-	152	R	1.01%	R	-	0.08%	R	R	R
中国	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
四国	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
九州	R	-	1	R	0.04%	R	-	0.01%	R	R	R
沖縄	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R

R 5 進捗評価（暫定）【高度化BWA】

	基地局数			人口カバー率			面積カバー率			総合的な 評価	通信量	技術 導入状況
	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値			
全国	A	-96	40,061	A	+0.27	97.84%	A	+0.03	38.73%	A	C	S
北海道	A	-1	1,180	A	+0.41	95.62%	A	+0.01	14.07%	A	C	A
東北	A	-10	2,561	A	+0.48	94.64%	A	+0.02	33.48%	A	C	A
関東	A	-65	18,173	A	+0.06	99.63%	A	+0.06	69.09%	A	C	S
信越	A	+1	1,029	A	+0.35	96.51%	A	+0.02	38.73%	A	C	A
北陸	A	+1	661	A	+0.40	96.04%	A	±0.00	33.61%	A	C	S
東海	A	-7	3,688	A	+0.11	98.21%	A	+0.04	47.88%	A	C	S
近畿	A	-14	6,639	A	+0.16	98.71%	A	+0.02	48.39%	A	C	A
中国	A	-2	2,034	A	+0.48	95.27%	A	+0.01	56.75%	A	C	A
四国	A	-2	832	A	+0.67	93.61%	A	+0.05	36.63%	A	C	S
九州	A	+4	2,927	A	+0.42	96.27%	A	+0.03	50.42%	A	C	S
沖縄	A	-1	337	A	+0.13	98.45%	A	+0.05	52.51%	A	C	A

R 5 進捗評価（暫定）【５G】

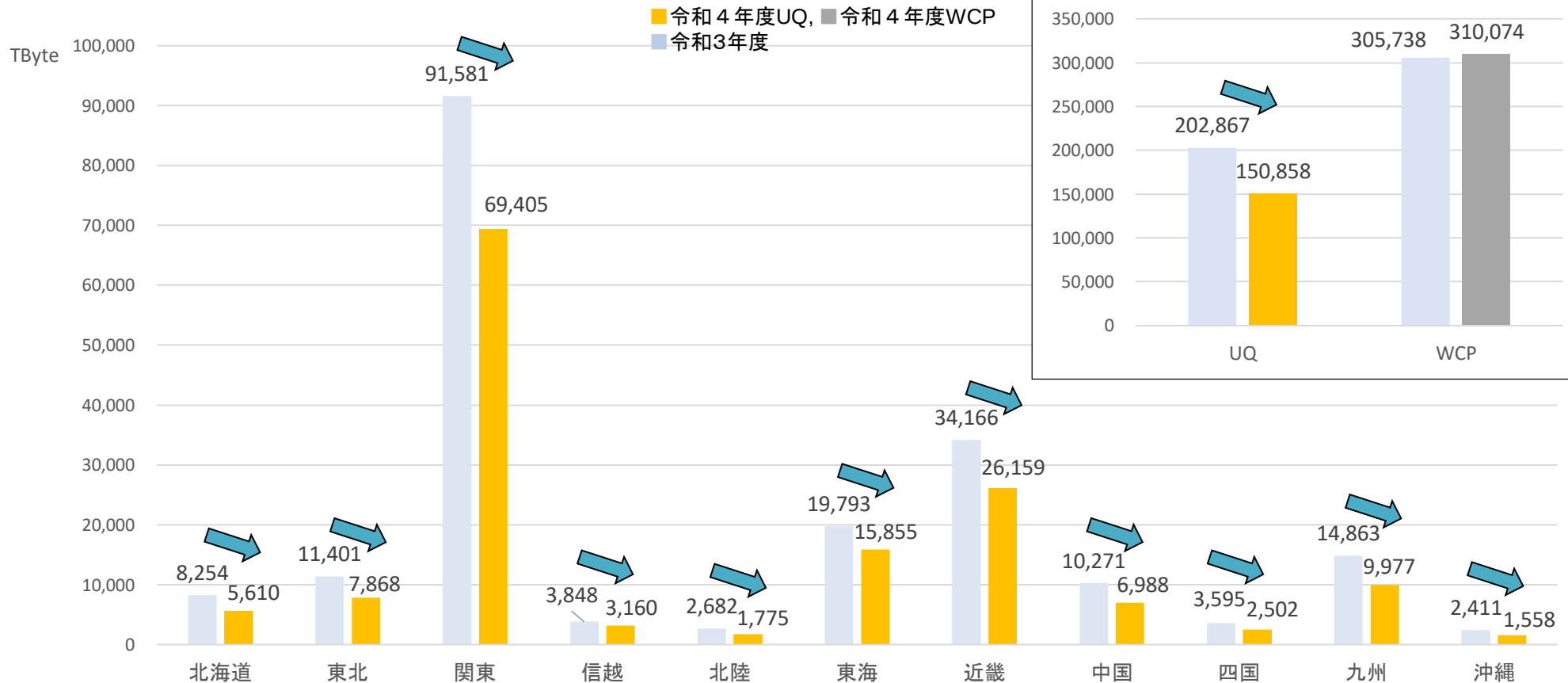
	基地局数			人口カバー率			面積カバー率			総合的な 評価	通信量	技術 導入状況
	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値			
全国	R	-	567	R	-	0.52%	R	-	0.02%	R	R	R
北海道	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
東北	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
関東	R	-	356	R	-	0.77%	R	-	0.09%	R	R	R
信越	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
北陸	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
東海	R	-	58	R	-	0.66%	R	-	0.05%	R	R	R
近畿	R	-	152	R	-	1.01%	R	-	0.08%	R	R	R
中国	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
四国	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
九州	R	-	1	R	-	0.04%	R	-	0.01%	R	R	R
沖縄	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R

UQコミュニケーションズ 詳細② 2.5GHz帯

38

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和4年度評価
定量 U2	2.5GHz帯 ・ 通信量	2.5GHz帯（高度化BWA）について、全国及び各総通局における通信量（月間総トラヒック）が前年度より減少している。 この要因と今後の増減見込みを教えてください。	【昨年度と同様】 全国及び全ての総通局の通信量が、 前年度実績値未満（進捗評価：C評価に該当） となっており、この要因及び今後の増減見込みについて継続的に確認する。	周波数を4Gから5Gに順次切り替えるためトラヒック量が昨年度を下回っている。今後更なる通信量の増大が予想される中で一層の有効利用を図る必要があることから、電波の有効利用に向けて引き続き努力するべきである。

○令和5年度調査結果 2.5GHz帯高度化BWA UQ 通信量（月間総トラヒック）



■ Wireless City Planning : 計 3 問

- * …【令和 5 年度】:本年度の新たな質問項目
 …【昨年度と同様】: 昨年度と同様な質問項目
 …【昨年度から改善】: 昨年度、同様な質問項目であるが、一部で改善が見られるもの

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由*（送付時には「回答欄」とする）	（参考） R 4 評価概要
定量 W1	2.5GHz帯 ・ 全般	2.5GHz帯について、高度化BWAの展開方針及び高度化BWAから 5 Gへのマイグレーションの方針を教えてください。	【令和 5 年度】 本年度より、総務省から 5 Gに係る基地局数・人口カバー率・面積カバー率等に係る調査結果報告が行われたところ。今後の評価の在り方の検討にあたり、高度化BWAの展開方針及び高度化BWAから5Gへのマイグレーションの方針についてヒアリングを行うことが適当と考えられるため。	—
定量 W2	2.5GHz帯 ・ 基地局数 面積カバー率	2.5GHz帯（高度化BWA）について、全国及び各総通局の面積カバー率が、周波数帯平均値の70%を下回っている。 また、前年度と比較し、基地局数は全国・北海道・関東・近畿・中国・九州・沖縄において減少、人口カバー率は拡大しているものの、面積カバー率は、北海道を除き減少している。 これらの要因及び今後の展開方針を教えてください。	【昨年度と同様】 令和 4 年度評価結果において、基地局数、人口カバー率及び面積カバー率の拡大に向け引き続き努力すべきとしている。 面積カバー率は全国及び全ての総通局において周波数帯平均値の70%未満（実績評価： C 評価に該当）となっている。 また、基地局数、面積カバー率について、前年度比較で減少が見られるところ。 これらの要因を確認するとともに、今後の展開方針について確認する。	人口カバー率は必ずしも高くなく、評価も高くなかった。 トラヒック対策のための周波数であったとしても、電波の有効利用を促進する観点から、基地局数、人口カバー率及び面積カバー率の拡大に向け引き続き努力すべきである。
定量 W3	2.5GHz帯 ・ 通信量	2.5GHz帯（高度化BWA）について、信越・近畿の通信量（月間総トラヒック）が前年度より減少している。 この要因及び今後の増減見込みを教えてください。	【令和 5 年度】 信越・近畿における通信量が、前年度実績値未満（進捗評価： C 評価に該当）となっており、この要因及び今後の増減見込みについて確認する。	—

※御回答にあたっては、文章にて御回答いただくとともに、可能な範囲で、パワーポイントにて、概要が分かる図等をお示しください。

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和４年度評価
定量 W1	2.5GHz帯 ・ 全般	2.5GHz帯について、高度化BWAの展開方針及び高度化BWAから５Gへのマイグレーションの方針を教えてください。	【令和５年度】 本年度より、総務省から５Gに係る基地局数・人口カバー率・面積カバー率等に係る調査結果報告が行われたところ。今後の評価の在り方の検討にあたり、高度化BWAの展開方針及び高度化BWAから5Gへのマイグレーションの方針についてヒアリングを行うことが適当と考えられるため。	－

○令和５年度 評価（暫定）

R 5 実績評価（暫定）【高度化BWA】

	基地局数			人口カバー率		面積カバー率			通信量	技術 導入状況	総合的な 評価
	評価	計画値差	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値			
全国	B	+53,194	65,887	B	87.57%	C	52.1%	13.64%	B	B	B
北海道	B	+2,085	2,567	B	82.60%	C	40.0%	3.52%	B	B	B
東北	B	+3,035	3,962	B	72.41%	C	43.9%	9.40%	B	B	B
関東	B	+21,054	25,300	A	94.19%	C	65.4%	33.61%	B	B	A
信越	B	+1,236	1,673	B	72.57%	C	44.0%	10.92%	B	B	B
北陸	B	+1,086	1,413	B	80.70%	C	64.0%	15.82%	B	B	B
東海	B	+6,255	7,838	B	88.96%	C	62.1%	21.62%	B	B	B
近畿	B	+9,200	11,313	A	93.68%	C	64.8%	23.20%	B	B	A
中国	B	+2,734	3,503	B	78.79%	C	36.1%	12.49%	B	B	B
四国	B	+1,374	1,806	B	77.27%	C	50.7%	12.43%	B	B	B
九州	B	+4,533	5,789	B	79.73%	C	47.0%	15.50%	B	B	B
沖縄	B	+602	723	B	89.04%	C	65.5%	25.55%	B	B	B

R 5 進捗評価（暫定）【高度化BWA】

	基地局数			人口カバー率			面積カバー率			総合的な	通信量	技術 導入状況
	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値	評価		
全国	A	-89	65,887	A	+0.80	87.57%	A	-0.05	13.64%	A	B	B
北海道	A	-9	2,567	S	+1.21	82.60%	A	±0.00	3.52%	S	B	S
東北	A	+18	3,962	S	+1.26	72.41%	A	-0.03	9.40%	S	B	A
関東	A	-52	25,300	A	+0.42	94.19%	A	-0.13	33.61%	A	B	B
信越	A	+2	1,673	A	+0.75	72.57%	A	-0.13	10.92%	A	C	A
北陸	A	+7	1,413	A	+0.93	80.70%	A	-0.07	15.82%	A	B	S
東海	A	+4	7,838	A	+0.56	88.96%	A	-0.04	21.62%	A	B	A
近畿	A	-27	11,313	A	+0.36	93.68%	A	-0.06	23.20%	A	C	B
中国	A	-1	3,503	A	+0.97	78.79%	A	-0.09	12.49%	A	B	A
四国	A	+4	1,806	S	+1.26	77.27%	A	-0.01	12.43%	S	B	A
九州	A	-29	5,789	S	+1.08	79.73%	A	-0.07	15.50%	S	B	S
沖縄	A	-6	723	A	+0.29	89.04%	A	-0.03	25.55%	A	B	A

R 5 実績評価（暫定）【５G】

	基地局数			人口カバー率		面積カバー率			通信量	技術 導入状況	総合的な 評価
	評価	計画値差	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値			
全国	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
北海道	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
東北	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
関東	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
信越	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
北陸	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
東海	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
近畿	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
中国	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
四国	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
九州	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
沖縄	R	-	0	R	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R

R 5 進捗評価（暫定）【５G】

	基地局数			人口カバー率			面積カバー率			総合的な	通信量	技術 導入状況
	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値	評価		
全国	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
北海道	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
東北	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
関東	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
信越	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
北陸	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
東海	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
近畿	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
中国	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
四国	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
九州	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R
沖縄	R	-	0	R	-	0.00%	R	-	0.00%	R	R	R

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和４年度評価
定量 W2	2.5GHz帯 ・ 基地局数 面積カバー率	2.5GHz帯（高度化BWA）について、全国及び各総通局の面積カバー率が、周波数帯平均値の70%を下回っている。 また、前年度と比較し、基地局数は全国・北海道・関東・近畿・中国・九州・沖縄において減少、人口カバー率は拡大しているものの、面積カバー率は、北海道を除き減少している。 これらの要因及び今後の展開方針を教えてください。	【昨年度と同様】 令和４年度評価結果において、基地局数、人口カバー率及び面積カバー率の拡大に向け引き続き努力すべきとしている。 面積カバー率は全国及び全ての総通局において周波数帯平均値の70%未満（実績評価：C評価に該当） となっている。 また、 基地局数、面積カバー率について、前年度比較で減少が見られる ところ。 これらの要因を確認するとともに、今後の展開方針について確認する。	人口カバー率は必ずしも高くなく、評価も高くなかった。トラヒック対策のための周波数であったとしても、電波の有効利用を促進する観点から、基地局数、人口カバー率及び面積カバー率の拡大に向け引き続き努力すべきである。

○令和５年度 評価（暫定）
R 5 実績評価（暫定）【高度化BWA】

	基地局数			人口カバー率		面積カバー率			通信量	技術 導入状況	総合的な 評価
	評価	計画値差	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値			
全国	B	+53,194	65,887	B	87.57%	C	52.1%	13.64%	B	B	B
北海道	B	+2,085	2,567	B	82.60%	C	40.0%	3.52%	B	B	B
東北	B	+3,035	3,962	B	72.41%	C	43.9%	9.40%	B	B	B
関東	B	+21,054	25,300	A	94.19%	C	65.4%	33.61%	B	B	A
信越	B	+1,236	1,673	B	72.57%	C	44.0%	10.92%	B	B	B
北陸	B	+1,086	1,413	B	80.70%	C	64.0%	15.82%	B	B	B
東海	B	+6,255	7,838	B	88.96%	C	62.1%	21.62%	B	B	B
近畿	B	+9,200	11,313	A	93.68%	C	64.8%	23.20%	B	B	A
中国	B	+2,734	3,503	B	78.79%	C	36.1%	12.49%	B	B	B
四国	B	+1,374	1,806	B	77.27%	C	50.7%	12.43%	B	B	B
九州	B	+4,533	5,789	B	79.73%	C	47.0%	15.50%	B	B	B
沖縄	B	+602	723	B	89.04%	C	65.5%	25.55%	B	B	B

R 5 進捗評価（暫定）【高度化BWA】

	基地局数			人口カバー率			面積カバー率			総合的な評価	通信量	技術導入状況
	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値	評価	前年度差	実績値			
全国	A	-89	65,887	A	+0.80	87.57%	A	-0.05	13.64%	A	B	B
北海道	A	-9	2,567	S	+1.21	82.60%	A	±0.00	3.52%	S	B	S
東北	A	+18	3,962	S	+1.26	72.41%	A	-0.03	9.40%	S	B	A
関東	A	-52	25,300	A	+0.42	94.19%	A	-0.13	33.61%	A	B	B
信越	A	+2	1,673	A	+0.75	72.57%	A	-0.13	10.92%	A	C	A
北陸	A	+7	1,413	A	+0.93	80.70%	A	-0.07	15.82%	A	B	S
東海	A	+4	7,838	A	+0.56	88.96%	A	-0.04	21.62%	A	B	A
近畿	A	-27	11,313	A	+0.36	93.68%	A	-0.06	23.20%	A	C	B
中国	A	-1	3,503	A	+0.97	78.79%	A	-0.09	12.49%	A	B	A
四国	A	+4	1,806	S	+1.26	77.27%	A	-0.01	12.43%	S	B	A
九州	A	-29	5,789	S	+1.08	79.73%	A	-0.07	15.50%	S	B	S
沖縄	A	-6	723	A	+0.29	89.04%	A	-0.03	25.55%	A	B	A

○（参考）令和４年度評価結果
R 4 実績評価【高度化BWA】

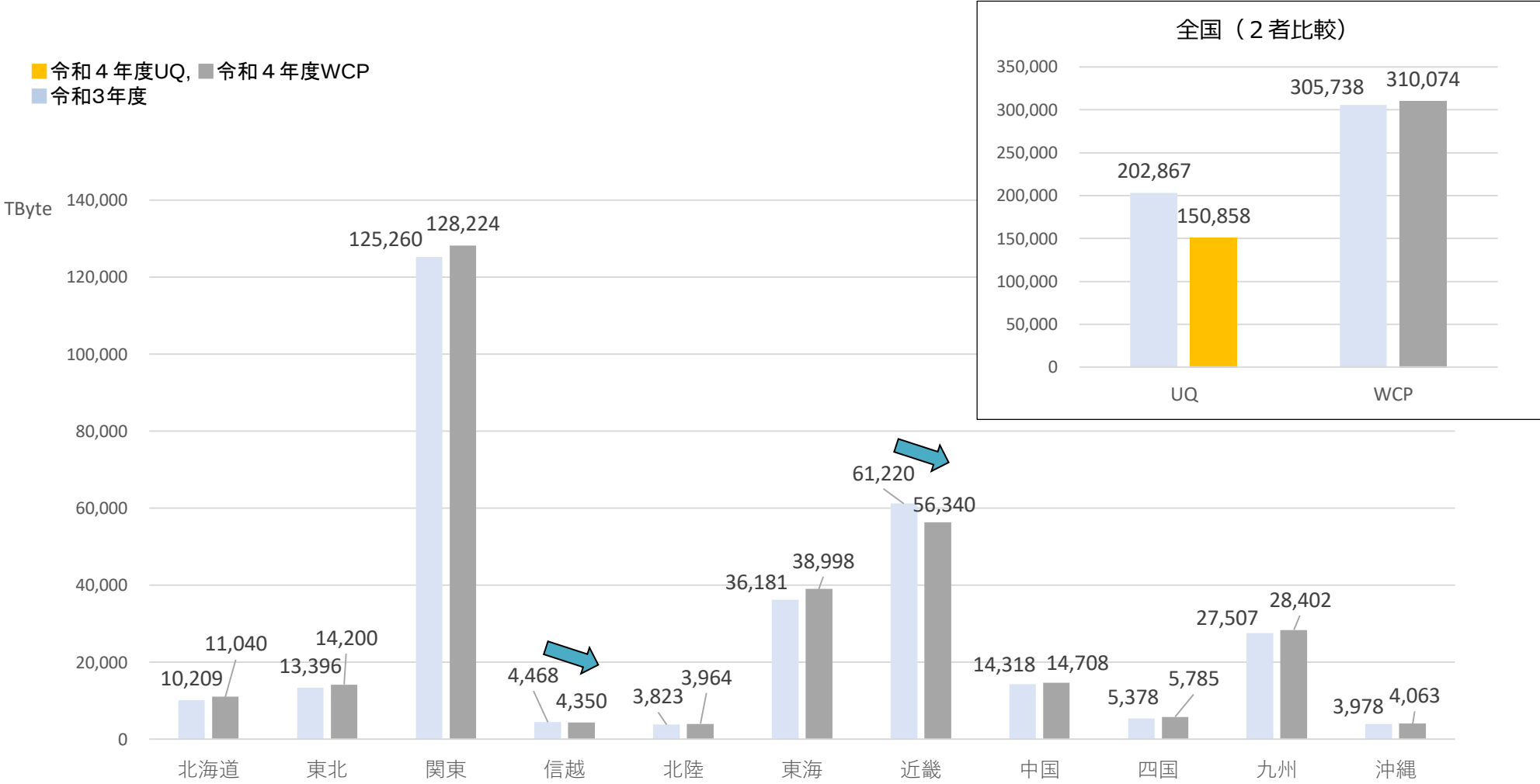
	基地局数			人口カバー率		面積カバー率			通信量	技術導入状況	総合的な評価
	評価	計画値比	実績値	評価	実績値	評価	平均比	実績値			
全国	B	+53,283	65,976	B	86.77%	C	52.3%	13.69%	B	B	B
北海道	B	+2,094	2,576	B	81.39%	C	40.0%	3.52%	B	B	B
東北	B	+3,017	3,944	B	71.15%	C	43.9%	9.43%	B	B	B
関東	B	+21,106	25,352	A	93.77%	C	65.6%	33.74%	B	B	A
信越	B	+1,234	1,671	B	71.82%	C	44.4%	11.05%	B	B	B
北陸	B	+1,079	1,406	B	79.77%	C	64.1%	15.89%	B	B	B
東海	B	+6,251	7,834	B	88.40%	C	62.2%	21.66%	B	B	B
近畿	B	+9,227	11,340	A	93.32%	C	65.0%	23.26%	B	B	A
中国	B	+2,735	3,504	B	77.82%	C	36.3%	12.58%	B	B	B
四国	B	+1,370	1,802	B	76.01%	C	50.8%	12.44%	B	B	B
九州	B	+4,562	5,818	B	78.65%	C	47.2%	15.57%	B	B	B
沖縄	B	+608	729	B	88.75%	C	65.6%	25.58%	B	B	B

R 4 進捗評価【高度化BWA】

	基地局数（※１）			人口カバー率			面積カバー率			総合的な評価 （※２）	通信量 （※３）	技術導入率
	評価	前年度比	実績値	評価	前年度比	実績値	評価	前年度比	実績値			
全国	A	+10	65,976	A	-0.07	86.77%	A	+0.08	13.69%	A	B	A
北海道	-	-	2,576	A	+0.09	81.39%	A	+0.03	3.52%	-	-	S
東北	-	-	3,944	A	-0.08	71.15%	A	+0.04	9.43%	-	-	S
関東	-	-	25,352	A	±0	93.77%	A	+0.11	33.74%	-	-	A
信越	-	-	1,671	A	-0.22	71.82%	A	+0.02	11.05%	-	-	S
北陸	-	-	1,406	A	-0.21	79.77%	A	+0.04	15.89%	-	-	S
東海	-	-	7,834	A	-0.09	88.40%	A	+0.05	21.66%	-	-	A
近畿	-	-	11,340	A	-0.10	93.32%	A	+0.07	23.26%	-	-	A
中国	-	-	3,504	A	-0.19	77.82%	A	+0.09	12.58%	-	-	A
四国	-	-	1,802	A	-0.18	76.01%	A	+0.18	12.44%	-	-	S
九州	-	-	5,818	A	-0.07	78.65%	A	+0.20	15.57%	-	-	S
沖縄	-	-	729	A	-0.05	88.75%	A	+0.88	25.58%	-	-	S

No	周波数帯・項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）令和4年度評価
定量 W3	2.5GHz帯 ・ 通信量	2.5GHz帯（高度化BWA）について、信越・近畿の通信量（月間総トラフィック）が前年度より減少している。この要因及び今後の増減見込みを教えてください。	【令和5年度】信越・近畿における通信量が、前年度実績値未滿（進捗評価：C評価に該当）となっており、この要因及び今後の増減見込みについて確認する。	—

○令和5年度調査結果 2.5GHz帯高度化BWA WCP 通信量（月間総トラフィック）



目次

1. 全般

各社共通	4
------	---

2. 定量評価関係

NTTドコモ	7
KDDI／沖縄セルラー電話	18
ソフトバンク	25
楽天モバイル	34
UQコミュニケーションズ	36
Wireless City Planning	39

3. 定性評価関係

各社共通	44
------	----

定性評価 各社共通の質問項目（案）（その１）

* … 本年度の新たな質問項目

No	項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考） R 4 評価概要
定性 共1	5G基地局に おけるインフラ シェアリング	インフラシェアリングに対する御社の取組や今後の計画（先導的な取組や新技術の開発・導入等）について、昨年度からの取組等の変更点及びインフラシェアリング基地局数の増減理由を含め、教えてください。	インフラシェアリングの取組状況や今後の計画については、経年的に確認することが適当であると考えられる。 また、評価基準の「a」評価に値する取組や計画を有しているか、更に、昨年度からの増減理由について、確認する。	－
定性 共2		インフラシェアリングについて、携帯電話・全国BWA事業者による取組みとインフラシェアリング事業者による取組みについて、それぞれメリット・デメリットがあれば教えてください。	インフラシェアリングの実施主体によるメリット・デメリットについて、携帯電話及び全国BWA事業者の意見を聴取する。	－
定性 共3		4G基地局のインフラシェアリングについて利用状況調査の対象となっていないが、今後調査や評価を実施することについて、意見があれば教えてください。	4G基地局のインフラシェアリングについて、評価を実施することについて、携帯電話及び全国BWA事業者の意見を聴取する。	－
定性 共4	安全・信頼性の確保	ネットワークの安全・信頼性の確保やネットワーク強靱化に向けた、御社の取組や今後の計画（先導的な取組や新技術の開発・導入等）について、昨年度からの変更点を含め、①災害対策、②通信障害及び③セキュリティ対策の3つの対策の観点から教えてください。	安全・信頼性の確保に関する取組状況や今後の計画については、①災害対策、②通信障害及び③セキュリティ対策の観点から、経年的に確認することが適当であると考えられる。 また、評価基準の「a」評価に値する取組や計画を有しているかを確認する。	－
定性 共5	データ トラフィック	データトラフィック量の分配に関して、複数周波数帯を横断してどのような方針に基づき対処しているのか、御社の取組や今後の計画（先導的な取組や新技術の開発・導入等）について、昨年度からの変更点を含め、教えてください。	安全・信頼性の確保に関する取組状況や今後の計画については、経年的に確認することが適当であると考えられる。 また、評価基準の「a」評価に値する取組や計画を有しているかを確認する。	－

各社共通の質問項目（案）（その２）

45

No	項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考） R 4 評価概要
定性 共6	MVNOに対するサービス提供	MVNOに関して、御社の取組や今後の計画について、昨年度からの取組等の変更点及びMVNO数の増減理由を含め、教えてください。	MVNOに関する取組状況や今後の計画については、経年的に確認することが適当であると考えられる。 また、評価基準の「a」評価に値するMVNOへの更なる開放に向けた取組を行っているか、更に、昨年度からのMVNO数の増減理由について、確認する。	楽天モバイル：R 4 年度からMVNO提供を開始、今後も多数のMVNOへの提供に向けて積極的に取り組むべき（「c」評価）。 UQ、WCP：自社グループ以外の提供がほとんどされていないことから、多数のMVNOへの提供に向けて積極的に取り組むべき（「c」評価）。
定性 共7	携帯電話の上空利用及びIoTへの取組	携帯電話の上空利用に関して、御社の取組や今後の計画（5 Gの上空利用に向けた検討状況を含む。）について、昨年度からの取組等の変更点及び開設局数の増減理由を含め、教えてください。	携帯電話の上空利用に関する取組状況や今後の計画については、経年的に確認することが適当であると考えられる。 また、調査結果に基づくと、4 Gのみ上空利用が行われているところ、評価基準の「a」評価に値する5 Gの上空利用の活用に向けた取組を行っているか、更に、昨年度からの開設局数の増減理由について、確認する。	楽天モバイル：実証段階に留まっていることから、実用化に向けて積極的に取り組むべき（c 評価）。
定性 共8		IoTに関して、御社の取組や今後の計画（サービスの多様化に向けた取組状況を含む。）について、昨年度からの取組等の変更点及びIoT端末開設局数の増減理由を含め、教えてください。	IoTに関する取組状況や今後の計画については、経年的に確認することが適当であると考えられる。 また、評価基準の「a」評価に値するサービスの多様化に向けた取組を行っているか、更に、昨年度からのIoT端末開設局数の増減理由について、確認する。	UQ、WCP：MVNO 提供を通じたIoT利用はあるものの、自社サービスとしてのIoT利用実績はない。IoT利用の拡大に向けて積極的に取り組むべきである。（「d」評価）。

※御回答にあたっては、文章にて御回答いただくとともに、可能な範囲で、パワーポイントにて、概要が分かる図等をお示しください。

各社共通 詳細① 5G基地局のインフラシェアリング

46

No	項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考） R 4 評価概要
定性 共1	5G基地局におけるインフラシェアリング	インフラシェアリングに対する御社の取組や今後の計画（先導的な取組や新技術の開発・導入等）について、昨年度からの取組等の変更点及びインフラシェアリング基地局数の増減理由を含め、教えてください。	インフラシェアリングの取組状況や今後の計画については、経年的に確認することが適当であると考えられる。また、評価基準の「a」評価に値する取組や計画を有しているか、更に、昨年度からの増減理由について、確認する。	－
定性 共2		インフラシェアリングについて、携帯電話・全国BWA事業者による取組みとインフラシェアリング事業者による取組みについて、それぞれメリット・デメリットがあれば教えてください。	インフラシェアリングの実施主体によるメリット・デメリットについて、携帯電話及び全国BWA事業者の意見を聴取する。	－
定性 共3		4G基地局のインフラシェアリングについて利用状況調査の対象となっていないが、今後調査や評価を実施することについて、意見があれば教えてください。	4G基地局のインフラシェアリングについて、評価を実施することについて、携帯電話及び全国BWA事業者の意見を聴取する。	－

○令和5年度 調査結果

5G基地局におけるインフラシェアリングの実施状況

	ドコモ	KDDI/沖セル		ソフトバンク		楽天モバイル	UQ	WCP
		自社グループに係るもの	左記以外	自社グループに係るもの	左記以外			
周波数帯	3.7GHz 4.5GHz 28GHz	700MHz 1.7GHz 3.5GHz 3.7GHz 4.0GHz 28GHz	700MHz 1.7GHz 3.5GHz 3.7GHz 4.0GHz 28GHz	700MHz 1.7GHz 3.4GHz 3.7GHz 28GHz	700MHz 1.7GHz 3.4GHz 3.7GHz 28GHz	3.7GHz 28GHz	2.5GHz	－
基地局数※1 （昨年度実績値） 【昨年度からの増減】	249局 （10局） 【+239局】	7,049局 （1,175局） 【+5,874局】	38,207局 （2,211局） 【+35,996局】	32,800局 （15,170局） 【+17,630局】	49,079局 （25,841局） 【+23,238局】	6局 （5局） 【+1局】	396局 （8局） 【+388局】	0局 （※2）

※1 次の工作物又は電気通信設備を、他の一以上の事業者（携帯電話事業者、全国BWA事業者及びシェアリング事業者に限る。以下同じ。）と協議等に基づき共用している場合に計上

①土地、建物、鉄塔等の工作物

②空中線、基地局装置、基地局のエントランス回線等の電気通信設備

※2 WCPは5G基地局を開設していなかったため、掲載無し

No	項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）R 4 評価概要
定性 共4	安全・信頼性の確保	ネットワークの安全・信頼性の確保やネットワーク強靱化に向けた、御社の取組や今後の計画（先導的な取組や新技術の開発・導入等）について、昨年度からの変更点を含め、①災害対策、②通信障害及び③セキュリティ対策の3つの対策の観点から教えてください。	安全・信頼性の確保に関する取組状況や今後の計画については、①災害対策、②通信障害及び③セキュリティ対策の観点から、経年的に確認することが適当であると考えられる。 また、評価基準の「a」評価に値する取組や計画を有しているかを確認する。	—

令和5年度 調査結果

安全・信頼性の確保の調査結果

c	ドコモ	KDDI/沖縄セル	ソフトバンク	楽天モバイル	UQ	WCP
○技術要員						
NOC要員	379人※1	512人	272人※2	360人	139人	225人※2
保守要員	2,802人※1	1,680人	597人※2	307人	1,671人	597人※2
無線従事者	9,770人	12,096人	10,622人	3,161人	1,671人	2,974人
電気通信主任技術者	30人	69人	42人	17人	11人	16人
○災害対策	・地震対策(耐震補強等)、火災対策(消火設備設置)等を実施。 ・24時間以上運用可能な予備電源等を設置。	・地震対策(耐震補強等)、火災対策(消火設備設置)等を実施。 ・24時間以上運用可能な予備電源等を設置。	・地震対策(耐震補強等)、火災対策(消火設備設置)等を実施。 ・24時間以上運用可能な予備電源等を設置。	・地震対策(耐震補強等)、火災対策(消火設備設置)等を実施。 ・24時間以上運用可能な予備電源等を設置。	・地震対策(耐震補強等)、火災対策(消火設備設置)等を実施。 ・24時間以上運用可能な予備電源等を設置。	・地震対策(耐震補強等)、火災対策(消火設備設置)等を実施。
車載型基地局	124局	65局	100局	87局	2局	36局
可搬型基地局	64局	149局	200局	176局	22局	0局
移動電源車	117台	59台	91台	427台	0台	91台

※1 自社グループ社員のみを計上

※2 自社社員のみを計上

混信等の防止の調査結果

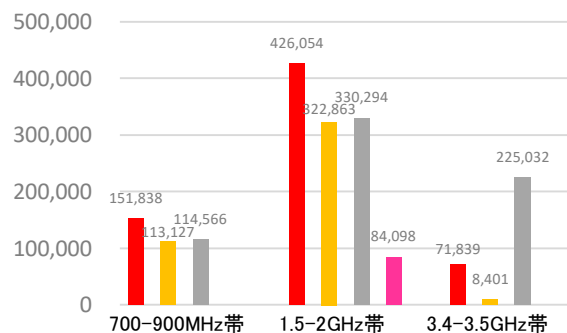
ドコモ	KDDI/沖縄セル	ソフトバンク	楽天モバイル	UQ	WCP
・他の無線局等との干渉調整等を実施 ＜各周波数帯特有の取組＞ ○700MHz帯： テレビ受信障害対策 ○3.4GHz帯： 宇宙無線通信(地球局)に対する混信等防止措置 ○3.5/3.7/28GHz帯： 宇宙無線通信(地球局)に対する混信等防止措置 ○4.5GHz帯： 公共業務用無線及び航空機局に対する混信等防止措置	・他の無線局等との干渉調整等を実施	・他の無線局等との干渉調整等を実施 ＜各周波数帯特有の取組＞ ○3.4GHz帯： 音声FPU、STL等に対する終了促進措置、宇宙無線通信(地球局)に対する混信等防止措置、TDD同期 ○3.5/3.7/28GHz帯： 宇宙無線通信(地球局)に対する混信等防止措置、TDD同期	・他の無線局等との干渉調整等を実施 ＜各周波数帯特有の取組＞ ○1.7GHz帯(1805～1845)： 公共業務用無線局に対する終了促進措置 ○1.7GHz帯(1860～1880：東名阪以外)： 同一周波数帯で携帯無線通信を行う無線局に対する混信等防止措置 ○3.7/28GHz帯： 宇宙無線通信(地球局)に対する混信等防止措置	・他の無線局等との干渉調整等を実施	・他の無線局等との干渉調整等を実施

No	項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）R 4 評価概要
定性 共5	データ トラフィック	データトラフィック量の分配に関して、複数周波数帯を横断してどのような方針に基づき対応しているのか、御社の取組や今後の計画（先導的な取組や新技術の開発・導入等）について、昨年度からの変更点を含め、教えてください。	安全・信頼性の確保に関する取組状況や今後の計画については、経年的に確認することが適当であると考えられる。 また、評価基準の「a」評価に値する取組や計画を有しているかを確認する。	—

○令和5年度 調査結果（周波数帯別のトラフィック状況の調査結果）

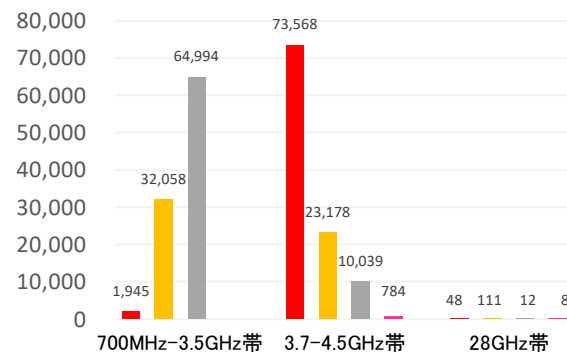
月間総トラフィック(単位: TB)

総トラフィック(4G)



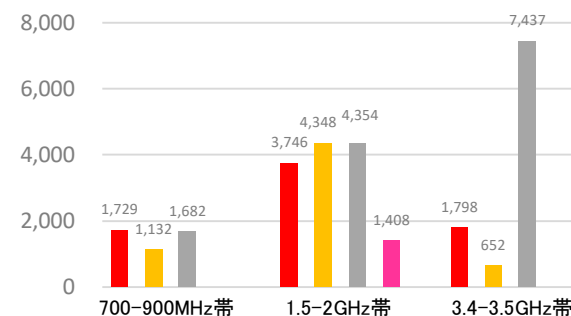
■ドコモ, ■KDDI/沖縄セル, ■ソフトバンク, ■楽天モバイル

総トラフィック(5G)



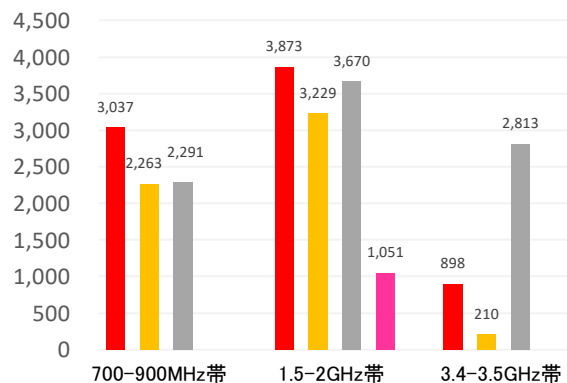
1局当たりの月間トラフィック(単位: GB)

1局当たりトラフィック(4G)

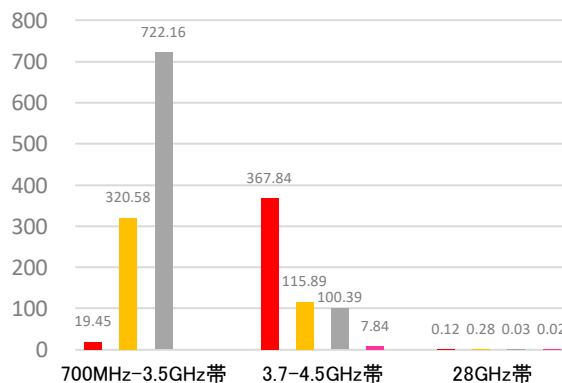


1MHz当たりの月間トラフィック(単位: TB)

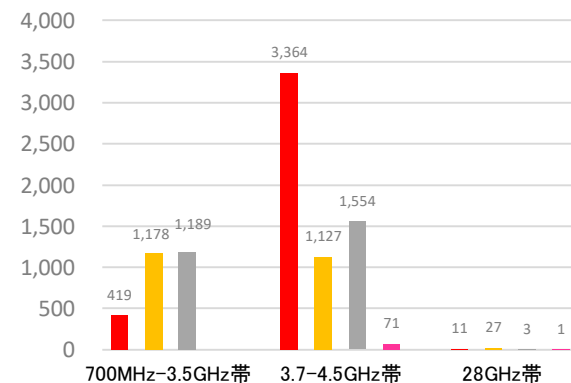
1MHz当たりトラフィック(4G)



1MHz当たりトラフィック(5G)



1局当たりトラフィック(5G)



No	項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）R 4 評価概要
定性 共6	MVNOに対するサービス提供	MVNOに関して、御社の取組や今後の計画について、昨年度からの取組等の変更点及びMVNO数の増減理由を含め、教えてください。	MVNOに関する取組状況や今後の計画については、経年的に確認することが適当であると考えられる。 また、評価基準の「a」評価に値するMVNOへの更なる開放に向けた取組を行っているか、更に、昨年度からのMVNO数の増減理由について、確認する。	楽天モバイル：R 4 年度からMVNO提供を開始、今後も多数のMVNOへの提供に向けて積極的に取り組むべき（「c」評価）。 UQ、WCP：自社グループ以外の提供がほとんどされていないことから、多数のMVNOへの提供に向けて積極的に取り組むべき（「c」評価）。

○令和5年度 調査結果

	免許人名		ドコモ		KDDI/沖縄セル		ソフトバンク		楽天モバイル		UQ		WCP	
			全体	前年度からの増加数	全体	前年度からの増加数	全体	前年度からの増加数	全体	前年度からの増加数	全体	前年度からの増加数	全体	前年度からの増加数
MNOであるMVNOに係るもの※1を除く	MVNO数		44	-2	71	1	683	90	13	12	29	3	26	4
	L2接続		15	-1	6	0	3	0	3	2	0	0	0	0
	L2接続以外		33	0	66	2	680	90	10	10	29	3	26	4
	MVNO契約数		12,186,165	1,364,670	5,772,750	507,202	10,567,075	1,846,362	15,455	15,341	1,586,866	-114,757	32,412	358
	L2接続		11,317,503	1,081,614	1,546,383	143,464	151,559	34,208	12,939	12,825	0	0	0	0
	L2接続以外		868,662	283,056	4,226,367	363,738	10,415,516	1,812,154	2,516	2,516	1,586,866	-114,757	32,412	358
全契約数※2に占めるMVNO契約数の割合			13.93%	+1.23	8.99%	+0.51	19.44%	+2.42	0.34%	+0.34	4.14%	-0.38	0.07%	-0.01
MNOであるMVNOに係るもの※1	MVNO数		0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0
	MVNO契約数		0	0	1,941,841	-129,085	0	0	0	0	36,468,799	865,277	45,654,257	3,732,542
	全契約数※2に占めるMVNO契約数の割合		0	0	3.02%	-0.28	0	0	0	0	95.06%	+0.41	99.93%	+0.01
MVNO促進の取組	開放を促進すべき機能※3の提供状況※4	HLR/HSS連携機能	○		○		—		—		—		—	
		料金情報提供機能	○		—		—		—		—		—	
		端末情報提供機能※5	○		—		○		—		—		—	
		その他	○		○		○		—		—		—	
	その他		標準プランの策定・公開やMVNO事業希望者への窓口設置等を実施。		標準プランの策定・公開やMVNO事業希望者への窓口設置等を実施。		標準プランの策定・公開やMVNO事業希望者への窓口設置等を実施。		MVNOガイドラインに規定するアンバンドル機能について2020年4月8日から事前調受付を開始。自社の独自機能についても提供の準備を実施。		標準プランの策定・公開やMVNO事業希望者への窓口設置等を実施。		標準プランの策定・公開やMVNO事業希望者への窓口設置等を実施。	

※1 自社グループのMNOであるMVNOに係るものを指す。
※2 MNOであるMVNOに係る契約数とMNOであるMVNOに係るものを除く契約数の双方を含む。
※3 総務省「MVNOに係る電気通信事業法及び電波法の適用関係に関するガイドライン」において規定される機能。
当該機能は、第二種指定電気通信設備（令和4年10月末現在、ドコモ、KDDI/沖縄セル、ソフトバンク、UQ及びWCPが設置する電気通信設備が該当。）を対象に設定されている。
※4 ○：提供中、—：提供なし（要望なし）
※5 L2接続を行うことによりMVNOが使用できるようになる標準的な機能の1つ

No	項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考） R 4 評価概要
定性 共7	携帯電話の 上空利用 及び IoTへの取組	携帯電話の上空利用に関して、御社の取組や今後の計画（5 Gの上空利用に向けた検討状況を含む。）について、昨年度からの取組等の変更点及び開設局数の増減理由を含め、教えてください。	携帯電話の上空利用に関する取組状況や今後の計画については、経年的に確認することが適当であると考えられる。 また、調査結果に基づくと、4 Gのみ上空利用が行われているところ、評価基準の「a」評価に値する5 Gの上空利用の活用に向けた取組を行っているか、更に、昨年度からの開設局数の増減理由について、確認する。	楽天モバイル：実証段階に留まっていることから、実用化に向けて積極的に取り組むべき（c評価）。

○令和5年度 調査結果

・携帯電話の上空利用の具体的な使用実態の例

	免許人名	規格	周波数	開設局数 (昨年度からの増分)
商用化局	ドコモ	4 G	800MHz帯、 1.7GHz帯(1845～1880)、 2GHz帯	100局 (+49局)
	KDDI/沖縄セル	4 G	800MHz帯、 1.7GHz帯(1805～1845)、 2GHz帯	399局 (+309局)
	ソフトバンク	4 G	900MHz帯、2GHz帯	19局 (+1局)

免許人名	具体的な使用実態の例	1日あたりの 平均飛行回数	通信1回当たりの 通信量
ドコモ	物資輸送、災害状況把握等のデータ伝送	2回	－
	研究開発に関する電波品質試験	4回	－
	ヘリコプター機上内での利用	2回	－
KDDI/沖縄セル	ドローンの監視利用	3回	960Mbyte程度
	ドローンの物流利用	4回	240Mbyte程度
ソフトバンク	ドローン管理システムの開発	5回	最大3Mbyte程度
	高精度位置測位デモ	20回	10Mbyte程度
	災害対応、工場現場確認等の実証実験	57回	最大10Mbyte程度
楽天モバイル	ドローンの状態(高度、姿勢等)の送信	1回	数百Kbyte

・携帯電話の上空利用の試験的導入に係る調査結果

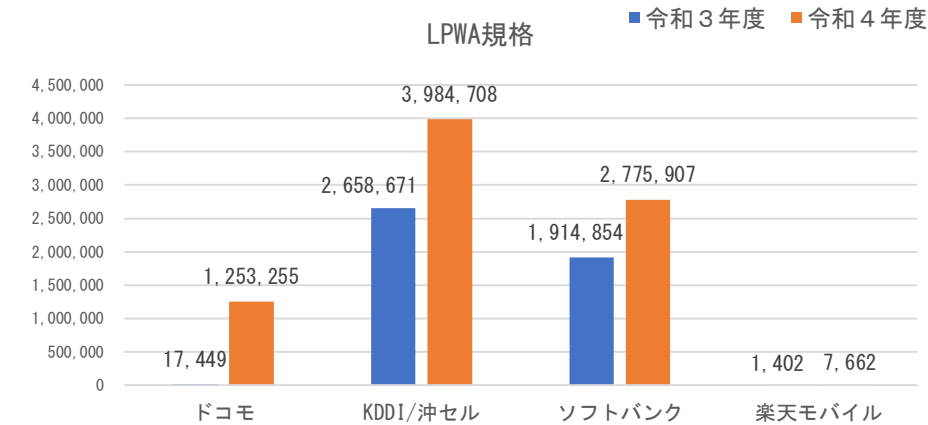
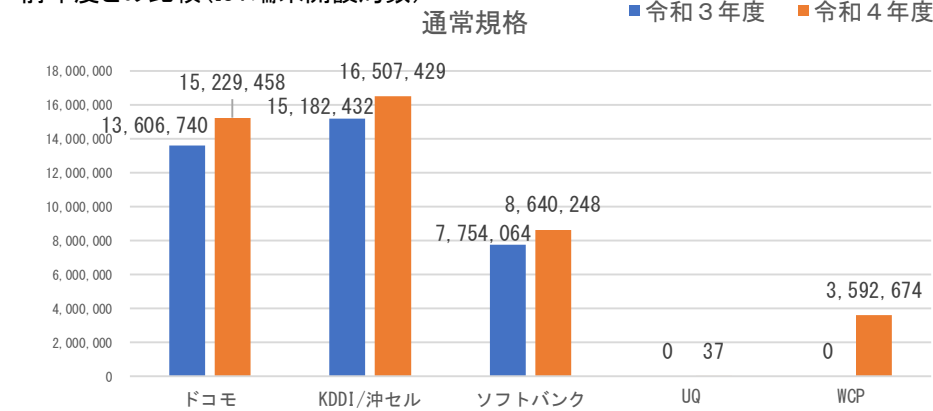
※ 試験的導入が開始された平成28年7月から調査基準日時点までの開設局数の合計。

免許人名	規格	周波数	総開設局数※ (うち1年での増加数)	1年での増加分の主な用途		
				①無人航空機 の制御用	②無人航空機の制御用以外 の データ伝送等用	①②両方
ドコモ	3 G、4 G	800MHz帯、1.7GHz帯(1845～1880)、2GHz帯	550局 (+19局)	0局	0局	19局
KDDI/沖縄セル	4 G	800MHz帯、1.7GHz帯(1805～1845)、2GHz帯	114局 (+3局)	0局	3局	0局
ソフトバンク	3 G、4 G	900MHz帯、1.7GHz帯(1845～1880)、2GHz帯	67局 (+0局)	0局	0局	0局
楽天モバイル	4 G	1.7GHz帯(1805～1845)	11局 (+4局)	0局	4局	0局

No	項目	質問項目案	質問理由（送付時には「回答欄」とする）	（参考）R 4 評価概要
定性 共8	携帯電話の上空利用及びIoTへの取組	IoTに関して、御社の取組や今後の計画（サービスの多様化に向けた取組状況を含む。）について、昨年度からの取組等の変更点及びIoT端末開設局数の増減理由を含め、教えてください。	IoTに関する取組状況や今後の計画については、経年的に確認することが適当であると考えられる。 また、評価基準の「a」評価に値するサービスの多様化に向けた取組を行っているか、更に、昨年度からのIoT端末開設局数の増減理由について、確認する。	UQ、WCP：MVNO 提供を通じたIoT利用はあるものの、自社サービスとしてのIoT利用実績はない。IoT利用の拡大に向けて積極的に取り組むべきである。（「d」評価）。

令和5年度 調査結果

・前年度との比較（IoT端末開設局数）



免許人名	規格	主な周波数	開設局数(千局)	主な使用用途
ドコモ	通常規格	700MHz帯、800MHz帯、1.5GHz帯、1.7GHz帯(1845～1880)、2GHz帯	15,229	車両位置データ取得、ホームセキュリティ、自販機検量データ取得、スマートメータ
	LPWA規格	800MHz帯、2GHz帯	1,253	ガスメーター検針、河川水位監視、橋梁モニタリング
KDDI/沖縄セル	通常規格	700MHz帯、800MHz帯、1.5GHz帯、1.7GHz帯(1805～1845)、2GHz帯、3.5GHz帯	16,507	スマートメータ、車載機との通信、自動車運行記録、水道局水量監視、AED監視、シェアオフィス
	LPWA規格	800MHz帯	3,985	水田水量監視、ガスメータ検診、水道局水量監視
ソフトバンク	通常規格	700MHz帯、900MHz帯、1.5GHz帯、1.7GHz帯(1845～1880)、2GHz帯、3.4GHz帯、3.5GHz帯、3.7GHz帯、28GHz帯	8,640	車載型通信機、ガスメータ検診、エレベータ監視、防犯カメラ監視、写真転送・表示
	LPWA規格	900MHz帯、2GHz帯	2,776	ガス/水道メータ検診、高齢者/子供見守り
楽天モバイル	LPWA規格	1.7GHz帯(1805～1845)、1.7GHz帯(1860～1880: 東名阪以外)	8	基地局電力利用量確認、電源OFF/ON遠隔操作、位置追跡サービス
UQ	通常規格	2.5GHz帯	0	鉄道車両内情報配信
WCP	通常規格	2.5GHz帯	3,593	車載型テレマティクスサービス、防犯カメラ監視